
夢不思議アドベンチャー

ラスト クリスタル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夢不思議アドベンチャー

【Nコード】

N5605Y

【作者名】

ラスト クリスタル

【あらすじ】

夢日記短編集をもとに原稿用紙にて

出筆してましたが、今回 摩訶不思議な夢を 一本の壮大なファンタジー小説にして投稿して見ました。 皆様が予想できない展開にハラハラさせられるでしょう

良い意味で裏切られるか 果たして真相は、 主人公 早乙女隆一が 自分や 他の人の夢を旅する異次元ファンタジー しか 夢で見た話を小説にしてるだけ

第二話 四月の恋物語（前書き）

夢不思議アドベンチャー

岡山県に住む 早乙女隆一は、三倉岳で遭難に合い
危険な道を下山している時に、魔女と会う そこで 魔女は、隆一
を夢の世界へ誘いこみ

どこかの夢の世界で魔女を見つけて倒すか ドリームキーを見つ
けないと 永遠に眠り続けることになる。 遭難死＝永遠に眠り続
けるのか

果たして現実世界に脱出できるのか

まず 隆一が見た夢は、2007年四月桜の季節に見た夢

お見合いパーティーを舞台にした コミカルな あるあるネタのよ
うなテンポで 話は展開して行きます

第二話 四月の恋物語

ドリームキー 果たして 隆一は、いつ探し出す事ができるのか？ 夢不思議アドベンチャーという ある意味 天変地異を起こすであろう

ファンタジー世界の扉 夢の中の話の扉が今 開かれた！

眠りについて時空を旅して 隆一は、夢の世界へ…

時は、2007年桜も百花繚乱に咲き乱れる 四月初期お見合いパーティーに、友人の たかしと参加した。 お見合いパーティーでは、男性77人女性44人と なんだか不思議な人数で フリータイム式パーティーが行われていた。 いつになく積極的な 隆一は、たくさんの女性と会話してみたが、本当にフィーリングが合うのは 桜色ヘアー なぜか 全身レトロなファッションで顔は、浜崎なるとか という超メジャーアーティストに すごく似てた！ 彼女の名前は、桜花子という奇天烈な 名前だった。

「さあフリータイムパーティーも あと二分で終了です！気になる方には 是非メッセージカードを渡して次につなげましょう。」と パーティー司会者の声が声高に木霊する。 隆一は、 手に汗握りながら、 勇気を出して 桜に メッセージカードを渡した。 心臓がバクバクして 今にも、飛び出しそうな感覚にとらわれる。 「今度、僕と花見に行きましょう。場所は夢桜公園です。」 顔を赤らめながら、隆一は、桜にメッセージカードを渡して 友人の たかしのもとに戻った！

そして パーティーは終了した。

「なあ隆一 お前 今回のパーティーNo.1人気の桜色ヘアの桜って 女の子にアドレス教えてもらったんか？」

怪訝な表情で たかしは、隆一に問う。

「当たり前だのクラッカーさ！俺は、あの桜って女の子に かけてるのさ」

「バカだなあ隆一（笑）桜って子は、パーティー会社に雇われているサクラに決まってるじゃん。」隆一は、たかしの言った言葉が若干 気になったが 帰宅後、いきなり風呂場で携帯とにらめっこしながら こう言った！「桜がサクラ？そんな関係ないし でも名前からして怪しい。でも俺は、彼女にメールするんだ。どうかエラーになりませんように。」

隆一は、祈りながら 半信半疑な気持ちで胸をさすりながら、そして興奮して 変なとこまで触りながら、桜にメールを送った！なんと！いつもありがちなパターンのエラーではなく 桜にメールが届いた。しかし 2日間もメールが返ってこない！

3日後、なんと桜からメールが返ってきた。（お返事遅くなってごめんなさい！私 過去に、いろいろあつて素直にメール返せなかった！でも、あなたと仲良くなりたい あなたを知りたい）と桜から返事が来た。

隆一は、嬉しくて友人の半数以上に連絡した。そして隆一は、（僕も あなたを一目見た時から吸い込まれるようなオーラを感じました。）

メールがなかなか返ってこないから返事が返らない間に、またメール（ねえパーティーで かなり僕と共通点あったよね？） またまた返事が なかなか返ってこないままだから返事が来る前に隆一は、焦って またメール（あれ？返事ないなあ？写真送って）とか桜に 半分 ヤケクソな 気持ちでメールを送りまくった！

しかし隆一の空回りか 桜から また2日間返事がなくて心配して 親友の たかしに、電話した。

「俺さあ 桜って女の子にメールしてんだけど 返事が ないんよ」

「そりゃあそうたる 桜は パーティーに雇われサクラだからなあ」冷たくあしらわれた。

隆一は、しょぼんと落ち込んで 一人おぼろ月の出ている幻想的な

夜空を見上げていた。

そんな時、桜からメールの返事があった！（隆一さん 連絡遅くなつてごめんなさい！ 私 恥ずかしくてメール返せなかった！日曜日 朝の10時に 夢桜公園の一番大きな桜の木で待ち合わせしませんか？）なんと 桜からの誘いの連絡だった 隆一は、あまりに青天の霹靂な出来事に右往左往していた。

だが、彼をよく見ると うおーわおーって興奮して叫んでる姿が見られた。はたから見れば、隆一は、紛れもなく変人だろう。

そして、日曜日の朝 思いのほか早く目が覚めた。まだ早朝4時だった！ 今から、誰かにメールするわけもなく いてもたってもいられない気持ちで朝7時まで 布団の中で ワクワクしていた。

朝7時 朝食は、トーストとコーヒーとヨーグルトを食べ 鏡の前で「今日こそ俺はやるぞ！俺はかっこいい元氣だ。」と暗示をかけて 約束の朝10時に、夢桜公園に間に合うよう少し早めに出発した。しかし、こんな時に限って信号が 絶妙なタイミングで、赤になるものである。

「おい おい、何でやねん このタイミングで赤かあ〜」

一人で車内で わめきながら 遅刻は、絶対にやばいと考えながら 車を走らせた。はたまた、そんな時に限って あまりに慣れすぎているせいか油断していたのか定かではないが、いつも左折する道を少し通りこしていたので、慌ててUターンして、いつもの左折すべき道に戻った！その時の隆一の顔は、まるでキンなんちゃらマンに出てくる 阿修羅の仮面みたいに しわくちゃで、口角も への字に下がっていたようだ。何とか10時に夢桜公園の一番大きな桜の木に到着した。「はあはあ……」やはりプレッシャーも感じたのか

道中、予期せぬ 事態のせいか隆一は、既に少し疲れ気味だった！

隆一は、ドキドキしながら、桜が来るのを待っていた！30分待つても 来ないしメールもない。いちよう桜にメールしているのだが！すると隆一は、発作的に首が痛くなった！

「うぐわわ な なんだ」一体 何が 起こったかは 定かではないが 首が伸びた気がした。隆一は、目を疑った！首を長くして首を長くして 待ちくたびれ あまりに首を長くしていたので……

…
…
キリンになっていた！隆一は、「これって夢か 現実か どっち？」と思わず叫んだら、ドッチボール転がして遊んでいた猫が二速歩行になり、いきなり 隆一に ドッチボールをぶつけてきた！すると あら不思議？隆一は、元の姿に戻れていた！「いったい俺は、どうしちゃったんだろ？」結局11時がきた。それでも桜は、現れなかった！「桜花子は、やはりパーティー会社に雇われた 盛り上げるだけ盛り上げという雄どもを奈落の底に落とすサクラだったのかな？」と悲嘆に暮れていた！

帰ろうとした、その刹那的、桜からメールがあつた！（お返事出来なくて すいません！なぜなら私は、あなたの そばに 摩訶不思議な形で いますから）何やら訳のわからないメールだった！隆一は、待ち合わせの場所の大きな桜の花びらが 一枚 一枚 舞い散る様子を見ていた！すると予想外な出来事が起こった！上空が、あんなに晴天だったのに雲が空を覆い始めているではないかそして辺りは暗くなり 今にも雨が降ってきそうな天気だ！その時、上空が光った！ ピカピカドカーン なんと待ち合わせの大きな桜の木に落雷した。

「うわあゝ俺んどこに落雷せんで よかったゝあぶねえ あぶねえ」と驚きつつ、大きな桜を見ると、な、なんと 桜の木の下に 桜花子の顔がくつついていた！隆一は、奇想天外な出来事に思わず声を失った！「こんな姿になつてすいません！私達の過去せ つまり、徳川の時代 あなたと私は激しい恋愛をしていて結ばれるはずでした。しかし、あなた激似の隆一ノ助は、関ヶ原の戦いで、命を失い 私は、敵方の殿に嫁がされましたが、あくまでせいりやく結婚… 私は、既に あなたを失っていましたから、生きる希望を

失っていた！」そして桜は、大きな桜の中で、リアルに大きな目や口を開いて涙を 浮かべてこう言った！

「ある、五月雨の時期、夕方となり 帰り道 私は 落雷に合い命を落としました！しかし霊となつて生き続けていたのです！いつしか隆一という名の男が現世へ隆一ノ助の生まれ変わりとして あらわれる事を」

「えっ なら、なんで何百年も経っているのに俺が隆一ノ助の来世だとわかつたん？」隆一は、声を震わせた！ 「あなたが毎年 ここに訪れているのを知っていました！そう戦乱の時の隆一ノ助様と同じ匂い 同じ顔でした。そして、この桜の前で あなたは 友人と歩きながら お見合いパーティーに行きたいと 話してましたね」 「確かに…」隆一は、目を丸くしながらうなづく！

「それから私は、毎年 四月に岡山で開かれる お見合いパーティーに参加していたのです！そして こないだ あなたに出会つた！隆一ノ助様に そつくりで どうしていいかわからず 真実を伝えたくとも伝えられませんでした！」 桜は、大粒の涙を流した。その時、天候が急に悪くなり 雨がザアザア降ってきた。

激しい雨と同時に桜の顔のある 大きな桜の花びらが 幻想的に一枚 一枚 まるで蝶が 上空を舞うように 散っていく。その時 夢か幻か季節はずれの春一番 ならぬ大きな風が吹いてきて、桜は、霊体の姿の前に現れた！

「隆一ノ助 会いたかつた」霊体となつた桜は、隆一に抱きつこうと するが、隆一の体を すりぬけるでも 隆一から桜を抱いた。すると不思議な事に 霊体である桜を抱きしめているではないか

まるで隆一ノ助が隆一に 世紀を超えて乗り移つた様だつた！ 桜は、kissをせまってきた 隆一は、優しく唇に口づけした。しばらく抱きしめたまま時が 経過した いつの間にか 空は再び晴天となり 太陽は、サンサンと輝き 雲の影から 赤 オレンジ 黄色 緑 青 紫 そして桜色 の虹が かかっていた

しかも 世紀を超えた奇跡が 起こり 太陽の輝きとともに 虹は
もう一つ 現れた ダブルレインボーが
隆一と霊体の桜を包み込む

柔らかな 春の風が二人を包む。

そうして しばらくして 隆一は あることに気づいた。

さっきまで抱いていた 桜の感触がない あるのは、ひとひらの
大きな花びらだけだった。そして ひとひらの大きな花びらは、上
空高く舞っていった！ なんて 切なく なんて はかない夢だっ
たんだろう！ この夢には 魔女も ドリームキーもなかったが
夢の世界を 体感した隆一は 次なる夢の世界へ 旅をするので
あった！

第二話 四月の恋物語（後書き）

魔女を倒すか ドリームキーを探す冒険へ 夢の世界に 突入して
いきなり お見合いパーティーからコミカルな演出そして、桜の季
節におとずれる 夢の世界ならではのファンタジー

世紀を超えたラブストーリー

いきなり 最初の夢から濃い！ こんな濃い夢の話は まだ始ま
ったばかり、果たして隆一は、現実世界にもどれるのか

第三話 不思議な鏡（前書き）

美観地区で 隆一と 健と 優香は、不思議なおじさんに不思議な力で 鏡を購入させられて その鏡を購入したゆえに不思議体験を 三人は、体験するのであった！

第三話 不思議な鏡

不思議な鏡を手にした三人のエピソードを話していきたい。この物語の主人公隆一と サラサラヘアの背の高い男 健、とショートウルフのメイクの濃い女性 優香らが見て感じた話である。

この三人は、今までなんの共通点もなかったわけだ。

みんなビビって電撃が走るような感じで友達になるのだが、不思議な事に三人みんな 桃色の縁に、星マークが散りばめられたデザインをした手鏡を持っていたのだ！

「こんな事ってあるのだろうか？ 僕達は鏡によって導かれたのだろうか？」と隆一は言った！

「私 この鏡を持つようになって、こないだ 変な体験しちゃったのよ」と優香は、声高に言った。

「しかも その鏡のせいで あり得んような不思議な事も起こったやろ？」と健は、鏡を突き出した。

それから数十分 隆一達は、この鏡によって不思議体験をした事を話し合った。

みな共通する事は、この鏡は、倉敷美観地区の露天商のボロボロの帽子を被り 長い靴 ロング黒髪のおじさんの有無をも言わさぬトークにビビりときて衝動にかられて購入した！

それでは、これから回想シーンに入るとしよう！ 優香のエピソードからスタート！

「私ね 先週の土曜日、友達と飲んでいたの 記憶が飛びそうになる程 飲んだわ。 友達の車で家の近くの公園まで送ってもらったの…」

気分が悪いから、その場で吐こうとしたら なんと無意識のうちに鏡を右手に持っていたの。しかも鏡から 「ケケケッ」と奇妙な笑いが聞こえてくる 鏡に映っている自分の顔が しわくちゃの顔になって、口元が口裂け女みたいになっているし 顔から血が流れ

てくるように鏡に映ったの。

しかし、自分の顔を触ってみても 口は裂けてないし、普通どうり。怖くなって、公園のゴミ箱に鏡を捨てて、帰ったら翌日 捨てたはずの 鏡が 自分の部屋に なぜなんだろう？ あったから おったまげたわ！なぜに処分したはずの鏡が自分の机の中へ？」

続いて健の話

腰痛を頼い整体師の先生の所へ、診察に行った。美観地区で手に入れた鏡を見つつ、自分の番が来るのを 待っていたら、唐突に先生が 出てきて、「その鏡を、天井に照らせ！」

と先生の片腕が天井を差していたので 俺は、鏡を天井に照らした。

すると誰もいない海辺に裸にされた自分と整体の先生と 体長3m くらいの大王イカがいた！

俺は、怖くて 逃げようと試みたが 体が麻痺して 動かねえんだ！ 「まあ怖がらなくてもいいぞ！青年よ。 この治療は、けつこう痛い、お前さんに永遠の健康を約束する血を与えるのじゃ。おとなしく耐えるがいい」

と先生は、真顔で言った。「大王イカよ！この青年の体の悪い毒を出すのじゃ。」と大王イカに威圧的な言い方で命令した！ 「うわあゝ俺の体が…まだ動かん。 怖い。 助けてくれ」と言いたいが 声が出ない。

そんな感じで俺は、汗びっしょりかいていた。大王イカは、少しづつ、俺に近づき俺の太股に向かって鋭利な 大王イカの足が入れられて 急に気分が悪くなったんだ。だが、あんなに深くヤツの足が食い込んでいるっていうのに、血が少しも出ていない。不思議だ？

なぜに？ その後、大王イカは、俺の足から ヤツの足をじわりじわりと抜いた。 抜くと同時に、俺、今度こそ 痛さで顔が歪んだぜ しかも精気がなくなっちゃった 血を抜かれたのかな？と思っていると、俺の足の傷口から大量の白い精液が出てきた！ （体の力が…抜ける。）俺は、顔面蒼白になりながら呻いた。

だが、その後も大王イカは、数回も俺の太股からイカの足を刺しては抜き 刺しては抜き を 繰り返し、俺の精子は、もうカラカラじゃねえのかよって気分だった。俺は、体の力が抜け過ぎて苦しくて呼吸もすらい！ そこへ医者が、俺をうつ伏せぎみにさせた！

「大王イカよ！青年の背中を貫け」

そして奴に新しい血を入れてやれ」

大王イカは、今度は、自分の鼻のr口をとがらせ俺の背中に向かつて刺してきやがった！

「うぐぐぐ」

と俺は、小さく悲鳴をあげた！

大王イカの鼻のr口から 真っ黒な墨を吐く。 どうやら この技によつて俺は新しい血を注がれているようだ！

その後、俺は疲れて海辺で寝たはずだが 自分の部屋のベッドになぜか 自分が寝ているではないか！

この日を境に俺は、すっげー元気になったんだ」

続いて隆一の話

隆一は、美観地区に行きパワーストーンを書いたかった。

特に恋愛で困った事に合い すぐ素敵な女性に出会いたかったので、冷静な判断力と恋愛運アップの石アメジストを探していた！

すると、変な長髪の汚い おじさんに「奇妙な鏡を買わないか？」と言われた！

奇妙と言ってきたのに 関わず また本当に不思議だが 吸い寄せられるように、その鏡を購入してしまった。

それから、3日後、隆一は、ぎっくり腰になり、近くの整体の先生に揉んでもらう事にした！

その日、隆一の鞆の中には、美観地区で購入した奇妙な鏡が入っていた！

隆一は、腰を揉んでもらっていたら、先生の声が いきなりポーオロンの声に急に 変わって びっくりだった！

「あけぼの」は あげもの 竹之内君 幕の内君」 とかおなじみの言い間違いギャグを言い出した。

思わず、隆一は、おかしくなって声をあげて 笑ってしまった。そしたら

「もつと笑いなよ」と また、ボーそっくりの声を出す先生。

そう言われて10秒後、いきなり先生は、片腕で隆一の背後から両腕を掴み、無理やりに立たせ 両腕が極められ痛いし苦しい。逃げようとしても逃げられない。

さらに先生は、もう片方の腕で 隆一の脇腹を「こちょこちょこちょ」と言つてくすぐる！

「ぎやははは」隆一は、大爆笑したが、両腕も極められ苦しいし、くすぐりたいし。隆一は あまりの気持ち悪さに意識を失った。

目が覚めたら、2日後の どんよりとした空の朝だった！

回想シーン終わり！ 肌寒くなる10月の後半、秋風に吹かれながら、隆一を含め三人は、ジャズの音が聞こえる喫茶店で微妙な、かつ不思議な空気に包まれながら、鏡のエピソードについて話していた！ 店内は、薄暗く、LPレコードや漫画が たくさん置いてある！

店内の曲は、ビートルズのイエスタデイが流れていた！

その時、三人は、不思議な事に偶然にも、奇妙な鏡を同タイミングで机の上に出したらジョンレノンの顔が鏡に浮かびあがっていて3つの鏡は、音を立てて 木っ端みじんに砕け散った。

その後、彼らは不思議な、おじさんを探しに美観地区を訪れても不思議な おじさんに 二度と 会う事は、なかった。

第三話 不思議な鏡（後書き）

夢日記を ほとんど脚色せずに書いた、物語です。夢ならではの不思議な感覚と 雰囲気は、興味深いのではないのでしょうか？
不思議な鏡を手にした三人が回想シーンを喫茶店で話すという 話
だけど どこことなく 奇妙な話とかテレビ番組で似たような話を聞いたことがあるような？作品です。 ドリームキーとかは 全然関係ない感じ

第4話 愛の伝説の話を語る男の夢（前書き）

時は、中世ヨーロッパだろうか？

平和な国ロザリオに 隣国アズラルのアズラル三世が、私欲から

ロザリオ王国を奪い取り 全てを破壊しようとする。 そ

んな時 立ち上がった女王ナイチンゲールや エリート兵士クル

ー達の物語を、描く

第4話 愛の伝説の話を語る男の夢

広大な土地、見渡す限り、緑の大地の国ロザリオは、滝や花、美しい山々に囲まれ平和と繁栄と栄華を極めていた！

王マツシュが国を治めていて、息子はいない。娘ナイチンゲールがいる！

王は長髪に少量の口髭と大きく凛々しい目と長身が印象深い男だ！ロザリオ王国に、隣国のアズラルの部下が、王マツシュの寝室に忍び込んで、王は殺された！

「いやあああ パパ… なぜ？」とナイチンゲールは悲しみに胸が張り裂けそうな声を出した。「王は、隣国のスパイに殺されたに違いありません。なぜなら、王の寝室に、置き手紙が あったではありませんか？」

と兵士の1人が言った。

置き手紙には、こう書いてあった！

「私はアズラル国のアズラル三世！王マツシュよ あなたから再三に渡り、娘ナイチンゲールを私の花嫁にしてほしいと懇願していたのに、あなたは、私にナイチンゲールをくれませんでした。私とナイチンゲールは良き友だったのに…悲しい。あなたには死んでもらう」そう書いた手紙をナイチンゲールは、読んだ。泣いている時に兵士のひとりが駆けつけてきて こう言った！「あなたこそ次期女王となってください。王となってくださいマツシュの代わりに国を治めてください。」こうしてナイチンゲールがロザリオの新女王となった。しかし平和は束の間、アズラルの兵士達によってロザリオの兵士は 次々と奇襲攻撃に合い殺されていった。またアズラルから手紙が届いた。「貴様ら、ナイチンゲールが女王となったようだ。俺の嫁になるつもりは ないみたいだし 明日までに明日の夕刻までに女王を、俺の元へ よこさないで貴様らに宣戦布告だ！」

ナイチンゲールは、父殺しのアズラルの花嫁になるはずがない！
すぐに戦にとりかかれるように 頭には美しい細工と宝石が施され
た守備力の高い金の髪飾りを装備した。竜のうろこから作られたド
ラゴンシールドと純白で光沢のある白銀の鎧と袋には、傷ついた兵
士の傷を癒すための 数十種の薬草を入れ 腰にベルトと共に巻き
つけて、ミスリルソードを装備した。ナイチンゲールの 容姿は美
しく 目は人形のように 大きく 長い睫 大きな胸 美しく輝
く白肌 高い鼻 小さく輝く口 後ろに束ねた赤髪の女性で 戦闘
防具を身につける事によって 美しさが より引き立った！
また、エリート兵士のクルーは、ナイチンゲールに恋心を抱いてい
たが、いつも上手く伝えられずにいた。青の厚手の鎧にレザーマン
トを装備し、バトルアックスの使い手で いつも女王を気に留めてい
た！

細い目だが、奥二重で長い目で男らしく、鼻や口も 小さく 顔も
小さく バランスも とれていた。
肩までの銀髪シャギーが似合っていた。 「女王様、出陣なさるん
ですね。俺は、たとえ死のうとも あなたを守り抜いてみせます。」
とクルーは女王の前に ひざまずいた。 「あなたは いつも私
の事を心配してくれて ますが、私の事より 自分の事を心配した
方が良いですよ」 と首を傾けながら女王は、クルーに言った！
（とても叶わぬ恋だが、女王を愛してしまった！ 俺の命にかえて
も女王を守ってみせる！）とクルーは 心内で叫んだ。 やがて 日
は陰ってきて夕刻と なった！

アズラルの軍が攻めてきた。弓矢に火を放って城下は、火の海とな
った！ナイチンゲールは、真っ先に 勝負を挑むのではなく、傷つ
いた城下の人の事が気になり、袋に入った薬草を使い まだ生きて
る人々の傷を治療させてゆくのだった。

その間に、先鞭を切ってクルーや兵士達がアズラルの軍に立ち向か
う。 だが、アズラルの軍は、1000 ロザリオは250！

圧倒的に数で押され ロザリオ軍は、みるみるうちに減退してい

った。

女王も、女將軍として果敢に戦ったが 後ろから アズラルの兵士に斬られ そのまま倒れそうになった時にクルーが 後ろから駆けつけて 女王を抱いた。

「女王様！頭の後ろから背中にかけて大きな刃の傷が入ってます
ここは ひとまず隠れて休んでください。」

とクルーは女王を抱いたまま言った！「ありがとう。クルー でも私は最後まで戦うわ」そう言っ、クルーの肩を借りて、ゆっくり立ち上がった女王！彼女は斬られた時から耳も あまり聴こえなくなり 目も少ししか見えなくなってしまうていた。

「フハハハ 見つけたぞ ナイチングール」

と馬に乗った鉄の鎧を装備して鉄球を振り回すアズラルがいた！

アズラルは、黒長髪で 筋肉質で濃い顔だ！

アズラルは、「フン！」と言っ女王に向かって鉄球を振り回したが 「危ない」と言い女王を 弾き飛ばし クルーが右肩から思いつきり アズラルの鉄球をつけた。 「女王様、クルー様が大変だあ 早く二人を避難させる」と 上級兵士が来て、アズラルと戦った！

その間に下級兵士達は、女王と右肩から右腕を負傷したクルーを安全な所へ避難させた。数時間後、アズラルの軍は、引き上げた。「フハハハハ また来るぜ！そんな時には、全ての城の者達と女王の命を頂け！フハハハ」そう言いながら、アズラルは、高笑いしながら帰って行く！

残る兵士は、クルーを含め 20…！ ナイチングールは、

一つの考えが浮かんだ。（どうせ 近いうちに皆 死ぬなら、新しい地へ…あの滝の向こうに…新しい地があるかもしれない）

女王は、ロザリオ最北端ナイールの滝、落差80mで大きな滝壺があるが、そこへ兵士を集めて新しい旅立ちをしたいので 賢者イリアスという黒のローブに白髪の老人を呼び寄せた。

「あの滝の下の世界へ私達は逃げたいのですが… 上手く死者を出

さずに 滝の下の世界に行くには どうすれば良いんでしょうか？」
と女王は、心配そうに言った！ 「滝に飛び込む 勇気ある者は、
皆 レザーマントをつけて飛び込みなさい。さすれば決して滝に
吞まれて死ぬ事はないでしょう。」

イリアスは威厳ある口調で答えた。

城の女 子供 老人は、城下に隠れ 女王と勇気ある兵士10人は、
女王と共に滝に飛び込む決意をした。

「勇気ある者達よ！今こそ アズラルから逃げるため しかし、新
しい滝の地の土地で成功を治めるためナイルの滝へ入るぞ！ 私
に続け」

女王は、号令を出し兵士達は、全員 普通なら確実に滝に吞まれて
死ぬ所を賢者の教えどおり マントを着て滝へ飛び込んだら、兵士
10人のうち9人は無事 滝の下の世界へ行けた。

しかし ひとり 滝の下には 行けてない 「ラルフレイ！」

兵士達は、下の世界へ来た時、兵士ラルフレイの名を叫んだが
彼はレザーマントを装着し忘れて滝に吞まれて死んでしまった！

下の土地は、高い崖と湖に囲まれ、東西南北 2Kmくらいしか移
動できない。

しかも人々もないし 食糧もない。

日が経つにつれ、兵士達は、混乱し始めて 同士討ちを始めた。

何度も女王の命も狙われたが、右半身 使えないクルーが、体を張
って、女王を 助けた。兵士と兵士は、殺し合い 殺された 兵士
は、焼かれて他の兵士に喰われた！

その頃、ナイチンゲールは、盲目の女王となり聴覚も極端に悪くな
り、声もかすれて 上手く 喋れなくなっていた。しかし、いつも
クルーが女王を守っていた。 「女王様、今 兵士達は、お互い殺
し合って生きていますが、俺は、絶対に死んだ兵士の肉を喰らいま
せん。 ましてや、あなたを殺して あなたの肉を喰らおうとは、
微塵も考えてはいません。 お互い 水だけで、ここで命をまっとう
しましょう。」

「ありがとう クルー もし、ここから生きて脱出出来れば、私と結婚してくれないかしら？」

「はい！ 喜んで」

二人は、手を取り合った！それどころか、傷ついた兵士を呼んで、女王は、薬草をブレンドして飲ませたり、手当てをしてやった！

さらに、一週間が経過し、兵士達の声も聞こえなくなった！ 「俺達 殺されずにすんだのかなあ？」

「ええ でも私は、もはや動く事もできません。」

「諦めちゃ駄目だ！生きろ！ナイチングール女王！必ず 上の世界から助けが来る！」

クルーは、熱烈に女王を励ました。 しかし、時は残酷なまで経過し1ヶ月が過ぎた。 辺りは、兵士達の白骨死体の亡骸と異臭で満ちていた！ 「女王様 まだ生きてらっしゃいますか？ 俺は、死ぬまで君を放さない。」

クルーは、抱きついたまま ナイチングールに喋りかけた。 「私も、上の世界から救助が来るまで死にません。 あなたと結婚したい…。」

さらに時は、経過した……。

ある日、一つの大きな黄色い気球が、ナイールの滝から、この白骨死体の異臭が漂う世界（クルーと女王が抱き合ってる世界へ降りてきた！ 男は、ダーバンをかぶり 商人風の白い服を着て 腰には小剣が巻かれていた！

時は、経過したが、果たして 伊達男クルーと女王ナイチングールは、生きているのだろうか？

「なあんだ このリアルな石像は、しかも女王と戦士らしき者が抱きついているっぺか？」

そう言つて、男は、女王と戦士を引き離そうとしたが、不思議と離れない。

「珍しい石像だし、アズラルの城へ気球に乗せて持って行ってやる

っぺか」

そう男は、言つて 全ての事件の企てと女王を追いつ込んだアズラルの城へ、女王と戦士の像を持つていった！

「そんな馬鹿なあ 女王と戦士が石像になつてゐるなんて…なぜなんだ！」

と アズラルや大臣や兵士達が 驚きのあまり顔が真っ青になる…。

「石像になつてでも、ナイチンゲールと戦士クルーは、愛し合つてゐるのかな？ 憎い愛だねえ。そんな愛など、このアズラル様の鉄球で、粉微塵にしてやるわ」 アズラルは、大きく息を吸い込み 徹頭徹尾に何百発も狂つたように石像に鉄球を叩きつけた！

「ハアハア」 どうして この石像は 砕けないんだああ」

アズラルは、混乱した。城内の人々も混乱した。

その時 奇跡は起こつた！ 天から激しい雷が、落雷し、アズラルは死に 城は地からの地震で 崩壊した！

一人の水の羽衣を着た女の精霊が現れた！

これは、天からの罰です。アズラルにアズラルと共に悪の道を進んだ者への。

そして、戻りなさい 女王に戦士よ！

精霊の魔法で二人の石像は、元の姿になつた！

しかし二人は、天へ引き上げられていった！

「あなた方の愛は永遠に 伝説として語り継がれて行くでしょう。これからは 天界で二人は、愛を貫くのです。 こうして二人は、地上から消えた！

しかし、それから後 満月の夜は、ナイチンゲールとクルーに似た星が上空へ現れるという事になつたそうじゃ。

物知り男ラムさんは、子供達に、一つの愛の伝説を話し終わつて煙草をゆっくり吸つた！

そして この 夢は終わる

第4話 愛の伝説の話語る男の夢（後書き）

中世ヨーロッパにおける 戦争から、 愛へ しかも 真
の愛とは 何かを問いかける物語になっています。

愛が、起こした 物語後半部の奇跡も、一つの見どころだったと言
えるでしょう。 元ネタは夢日記だったけど 深いいい話し
に仕上がりました。

第五話 中国昔話リー伝説（前書き）

中国の昔話の夢日記です。 以前 とあるSNSサイトの日記に夢日記そのまま 載せました。

しかし 今回の 夢 の話は かなり脚色しました。 中国香港のアクション映画を

見ているようなストーリーに きっと惹かれる事でしょう

第五話 中国昔話リー伝説

昔、中国に11歳の娘レンと、12歳の娘ランと 10歳の息子ヤンという息子達に恵まれ リーという、常にカンフー着に、ややえりあしが のぞくらいのヘアーに、濃く 目鼻立ちが くつきりした男、35歳のカンフーの使い手 リー という男がいた！
だが、ある日 「うぐっ」 苦しいよぉ 又呼吸発作があゝ
助けてくれ」 チェンミン」

と リーは嫁チェンミンに抱きついた。

「あらあら 毎回 かわいそうだと思つたら あなたの考え違いだわ。隣村の医師から いただいた とんぷくさ 飲めだっちゃ！」

「ハア」 ごくり！ 「ああ発作が おさまってきたよ」

「あのさあ リー あなた建設の仕事 またクビになつたんだつて」

「すみん チェンミン」

「いったい いくつ仕事をかえれば気が済むの？ もう あなたとは暮らせない！ アタシ実家に帰るわ。」

「チェンミン」 お前まで オレを見捨てるのか」

こうして 雨の激しい 6月の夕暮れ チェンミンはリーに 三行半をくだした。リーは、息子と娘を一人で面倒見ることになる

「ハア」 俺、生活力ないのに 三人の子供を 養うのは 大変だあゝ」と 酒場で ぐちつていた時

飲み友達 ジャッキー小太りで 丸く ぱっちりした目と ちょび髭の 彼は こう言つた！ 「なあに リー よ お前 あの竜仙人さんに 若さの秘術を学んでるじゃろ？ だから 今のおめえ 見た目25歳 で じゅうぶん通用するぞ。」

そう彼に励まされながら 日は 経過した 妻に 三行半されてから リーの心は 平常心を失っていたが さらに リーの心境をかき乱す事が 起こつた！ リーの息子ヤンが 食事中いつもよく

喋っていたのに 最近 妙に無口で まるで なにかに おびえているように見える。

「どうしたんだい？ヤン」

「とうちゃん とうちゃんの前 働いていた会社ブロッキー てとこ ヤクザが 絡んでたんだって？」

「俺 知らなかったぞ」

「だって僕 とうちゃんの名前 出されては そのヤクザのボスである ゲンって 体長2mはある大男に リーを殺せ リーを殺せと この劇薬を 渡されるんだよ。」ヤンのポケットから出てきたのは 飲むと 血を吐いて死ぬ あの有名な劇薬 蛇毒薬だった！
リーは 意を決して 以前 働いていた 会社にカンフー着と赤い鉢巻きとヌンチャクを装備して 表沙汰は 建設会社として看板を出している ブロッキー（株）

に歩を進め ホンマランを睨みつけた

「おやあ 先日 クビになった リーじゃないか？なんだあ その形相は？」

ホンマランは、野太い声で リーの顔を睨んで ニヤッと笑う。「ホンマラン 貴様のやり方 許しておけねえ 麻薬売買しているヤクザだろう！」

「フハハハ ヤンから聞いたのか？ あいつ思った以上に 口が軽いね」

「ああそうだ！ 覚悟しろよ ホンマラン」リーは 竜仙人から授かった構え（青龍）の構えをとった

「ククク リー 貴様の相手は 我ら ブロッキー

組が相手だああ」

後ろの部屋から 5人の従業員であり

元リーの同僚である 男達が 普段 リーに 見せた事がない 服を脱いで 上半身裸になった

な なんと 5人とも色鮮やかなタトゥーを しているではないか 鯉や 花 竜などをモチーフにした タトゥー まる

で タトウーの舞踏会に

来ているようだ。

5人それぞれ 素手で リーに襲いかかってきた！

しかし、いかんせん喧嘩に関しては素人なのか タイミングがバラバラだし リーの（青龍）のかまえから 繰り出される サイドキックや 二段蹴り 一撃の拳 の前で バッタ バッタ て倒れていく 5人のタトウーの輩達

「ぬうう」

焦ってサングラスを 外す ホンマラン

リーは 体をガードするかのごとく丸めた（玄武）のかまえだ！

ホンマランは、パンチの雨あられで 襲いかかるが リーはまるで亀のような 動きで まるきり ホンマランの攻撃が効いてない

ホンマランが渾身の一撃で 右ストレートを出す直前に

リーは宙返り前転して ホンマランの胸元に ダブルニードロップ！ ホンマランは2m以上 後ろに ぶっ飛ばされた

そして 鬼の形相で 近づく リー！

「悪かった 許してくれ」 もお リー達には かわらねえよ」

ホンマランは おびえた口調で そう言った！

「フン 悪は滅べ」 と言いながら リーは 会社から 立ち去ろうとした 刹那

ホンマランは、 どこに隠し持っていたのか 銃を手にして

引き金を弾いた

ズドン！

リーに 直撃かと思われたが どこからともなく 一つの影があらわれ 銃弾は 弾かれ ホンマランは 疾風のごとく 踏みつけ蹴りで 息絶えていた

リーは 嬉しさと 懐かしさで 涙を流した。

「竜仙人先生」

そこには 緑のカンフー着と 長い口髭 白髪 の おじいさん
竜仙人がいた！

「うぬ！ リーよ 今のは 危うかったのう！ ワシが この会社
の悪事を知り ひとりで 滅ぼしに来たが まさか リー お前
一人で やってしまうとは あっぱれじゃわい」

「竜仙人先生が いなければ 私は やられていました！」

「そうかも しれなかったのう まあ ワシは 忙しいので これ
で失礼する」

こうして 竜仙人は また疾風のごとく 消えた

リーは 娘や息子と コミュニケーションをとるため

日課として カンフーの時間を 作った

「ヤンゝ あなたは いつまでたつても カンフー上達しないわね」
レンは、ヤンのカンフーの動きを見て ダメ出した。

「こらゝっ ヤン あんた何回 言ったら （朱雀）の動きを覚え
るの？ あんたの拳は まるで ネズミじゃないか」

ランも ヤンをせめる！

毎日のように ヤンはダメ出しされ ヤンは 姉達を 見返して

村一番 いや あの竜仙人より強くなりたいと言い出し あの有
名な武道寺チャンチャン寺へ 一人 修行のために 出ていった！

「ヤン まだ 寂しくなったなあ」

リーは つぶやいた。長髪で腰まで髪があり 12歳とは思えぬ大
人びた姿のランは 「どうせ ヤンのやつ修行に耐えられず すぐ
帰ってくるさ」

と軽くあしらった！ お団子頭で男の子みたいな姿のレンは、「ヤ
ンのやつ強くなってきてたよ ウチ きつく言い過ぎたわ」

ヤンは、チャンチャン寺で 修行する事になったが ヤンは他の修
行僧以上に厳しい修行をさせられた。 「これって やりすぎじゃ
ないでしょうか 師範代」

「ヤンには 特別 痛い灸をすえてやる

ヤン スクワット千回 腹筋500 腕立て伏せ500 を五時間以内に こなせ

できねば ムチで 貴様をこらしめる」

丸坊主の2mくらいある 細目の師範代は ヤンに 毎日のように 厳しい メニューを与えていた。

月日は 経過し 冬も寒さが厳しさを 増してきた！

「オイ ヤン 雪の中 寺の中庭の凍りついた池で座禅を組んで こい」

今度は、師範代ではなく兄弟子からの あきらかな イジメだ！ヤンは 修行だ 強くなれると思い 兄弟子や 師範代の命令には 全て従った

心が折れそうになり 何度 チャンチャン寺から逃げだそうとした ことか

しかし 竜仙人を超えて 最強の男になるという夢のために 必死で 修行や イジメに耐えた！ しかし 「さ 寒すぎる 死んでしまつのでは ないか ここで座禅組んでいたら 池に 落ちるかも」 この日ばかりは ヤンは 誰も見てない池から出て

あたりを キョロキョロして 夜逃げを決意する！

外門の 裏の囲いを とびこえたら

逃げれそうな予感がする。 ヤンは 走って 囲いの方へ行く。

すると 猛スピードで 大きな影が近づいて 後ろから ヤンを

つかまえ 片手で ヤンを 持ち上げる！

「痛ててて」

「ヤン 夜逃げとは いい度胸しているなあ 本来なら 重い罰を与えてやりたいが 面白い話をしてやる。」

後ろから片手で ヤンの首をつかんだまま 師範代が 語り出した！

「俺は、ホンマランの弟 ガリユウだ！お前の父が我が弟 を殺したという情報が 入ってきた時 リーを殺そうと思っていたが

リーの息子であるヤン！

貴様が この寺に修行に くるとは 飛んで火にいる夏の虫とは
このことだな」

「じゃあ いっそのこと とうちゃんに この事を伝えなきゃ」

ヤンは ガリユウの手をほどき 力強く言った！

「ムダだ これからもお前を しごきに、しごく 逃げられんぜ
ワシらからは」

一方 その頃

リーは、学校の先生になっていたが

浮気癖が 激しく 学校に 授業中にリーと関わった女が 何回も
乗りこんできたり、リー自身 発作等の病気もあり 授業を休み
がちになり

真冬の2月半ば リーは 学校先生を クビになる。

ダメオヤジに 愛想尽かした リーの娘達も不良になり

家に帰らない日々

夜遊びで 家に帰るのが 朝帰り だとか そんな日々が続い

た リーは、一人 一枚の大きな家族写真を眺めて いた！

「チェンミン ヤン レン ラン… この頃は、家族全

員 仲良くて 楽しかったなあ。 家族の絆ってこんなに もろ

いのかな？」と 思っていた矢先 レンが いきなり リーのそばに

きて 家族写真を四方八方から やぶった！

「 やめろ レン」

「ふん」だ もうこの家 出て行ってやる」 レンもランもヤンも

家に帰ってこない

寂しい春

暖かい日差しの中

リーの村には 黄色のじゅうたんのように 菜の花が 美しく咲き
誇り また リーの家のまわりには 桜が満開の季節となってい
た。

リーは 毎年 チェンミンの 胡弓（中国の民族楽器）を 聴きな

がら 春の夜桜を

中国酒で 月を眺めながら くつろぐのが 好きだったが 今年
は、本当に一人で しかも いつも以上に苦しい病状で 一人
のリー

四月も終わり 若葉繁る 緑香る 風の季節となる頃

リーは 過呼吸で

生死を さまよっていた。

夢か幻か リーの

目の前に いまにも 衣が はたけそうなくらいの着物を着た 二
十歳にも満たない 細長い奥二重に濃い化粧 中国の夜の店にい
るような髪型と美しい飾りをした女が リーの 枕元に あらわれ
た。

「私は 蛇姫 私と寝てちょうだい

私と寝たら あなたの病は たちどころに良くなるでしょう。」

蛇姫は うつとりしたまなざしで リーを 誘惑してきたが リー
は、薄らぐ意識の中で殺気を感じた。 そう 蛇姫の奥歯には、
なんと 鋭い 牙が 光っていた。

蛇姫の体のラインは 美しい。

この世のものとは思えぬくらい美しい しかし リーは、さん
ざん浮気して 軽く 女達と寝た日々を見直し こう言った「俺は、
お前とは 寝ない！愛する女は
チェンミンだけ。

いづれ 俺の元に帰ってくる だから お前とは 寝ない」

その時 蛇姫の体に 異変が起こる 白い表皮から 鮮やか
な マムシの体が、あらわれて こう言った！「あなたは よく私
の誘惑を さけました。 家族の絆は大切です
あなたの強い心 負けない心 は いづれ 絆を 取り戻すでしょ
う」そう言つて 蛇姫は去った：

小さな光の玉を残して

リーは なぜか 光の玉を飲んだら あら不思議 リーの体は た

ちどころに 回復した！

新緑の季節 緑色の風が 気持ち良い

五月 近くの サツキの園という 花の名所に 一人 リフレ
ッシュしに リーは行つてたら

チャンチャン寺の坊主が 息を切らしながら やつてきた

「ハア ハア」

「どうした？」「実は、ヤンのやつ 師範代や 兄弟子に いつも
イジメられています」

「なぜ？」

リーは 怒りで唇が震えた。

「なぜなら昨年リーさんが倒した ヤクザの組長の弟が 我が師範
代なんです」

そう言う風のごとく坊主は去った！

リーは 以前のように 力で チャンチャン寺の師範代およびヤン
をいじめる兄弟子を ぶっ飛ばす という考えは おきなかった。

そう リーは ひとりになり 自分を 見つめ直し

家族の絆を取り戻すため 家族のありがたさに 感謝していた。

そして ただ 病に なっただけでは なかった。

病床で 人間は力で制するのではなく

話し合いと 心 魂 で動かすものだ と悟り 中国に伝わる

人生の哲学や素晴らしい人生訓を読んで 内面を磨いていたのだ。

スピリチュアルパワーに満ちたリーに変貌をとげていた

そこで、リーが とつた行動は リーが 学んだ 書物と 自家裁

培だが 新鮮な野菜や くだもの そして

貯金を使って購入した 馬二頭を連れて ガリユウの前に言った

！

「このとうりだ

ガリユウ 俺が お前の兄を殺した

この捧げものならぬ 俺の持ってきたものと ひきかえに
ヤンを俺の元へ返してほしい」

リーは ガリユウの前で 土下座した！

「おぬしの気持ちは よくわかった ヤンを返そう。 ワシらこそ 悪かった。 兄上の敵だと思い ヤンを イジメぬいた」

「おい ヤン」

リーは、広い寺の中 ヤンを探しに行った！

ヤンは 今日も 兄弟子から 教わった カンフーを練習していた しかも リーが 見たヤンの動きは 以前とは まるで別人

流水が流れる中

滝や 溪流のごとき 動き

まさに可憐

それを見て感動した リーは ヤンに向かって 駆け出し

「強くなったね ヤン」 と言い

ヤンは、「とうちゃん」と言っ

て リーに抱きつくこうとする

そこへ 突然 上空から 稲妻が墜ちてきた！

ヤンとリーは 距離をとった！

空は晴天なのに一気に 夕立でも あろうかというくらい 暗くな

った！

上空から 大きな竜が現れ 竜の上では 娘 レンとランが 縄で 結びつけられ

竜の背中には

竜仙人が 乗っているではないか！

「パパ」 助けて」

「こわいよー」

レンとランが こちらに助けを求めている！

リーは「レーン

ライン」 と叫んだ。

「悪の黒幕は このワシ 竜仙人よ！ チャンチャン 寺師範代にワシ が本当は、奴の兄を殺したのに、お前が殺したと嘘の情報を流した のもワシ！

ワシを倒さぬ限り 娘達は 戻らぬぞ！」

「竜仙人！ なぜだか 一連の事件 そう最初 俺を 助けた時から 怪しいとは思っていたぜ」

怒りに震える リー

「かかってこい」

竜から 飛び降りる 竜仙人 二人は 間合いをはかる
うかつには 手が出せないのだろう

「とうちゃん俺も戦わせて」

ヤンは叫んだ。

「お前は とうちゃんの戦いを 見守つてろ」

「パパ この戦いで死ぬ気なの？」

レンは涙ながらに言った！

「大丈夫さ 俺は死なんよ そして家族の絆を取り戻す」

「ふふふ リーよ！ 後の先を 狙つておるな ならワシは先の先じゃ」

いきなり 回転跳び蹴りで リーを

ぶつ飛ばす竜仙人！ 「うわぁーっ」

「とうちゃん…」

レンとランは 思わず目を背けた。

「心配するな とうちゃんには 必殺技がある」

ふらつきながらも

竜仙人に近づき

「うおりゃあああ 百虎拳」

百匹の虎が 同時に襲いかかるような攻撃を竜仙人に ぶつけるが

竜仙人は 全てかわして、ひよいと

リーの 頭の上に乗っている！？

そのまま するりと身を翻し

竜仙人は、リーのバックをとり

「フィッシャーマンズスープレックス」 リーを 空中にとらえて

から 急降下投げで 地面に直撃させる 荒技だ。

リーは ピクリとも動かない！

「ハハハ 所詮 悪であるワシが勝ち
正義のリーは 負けるのじゃ」

「レン： あなたの持てる気をとっちゃんに」

「ランこそ 気を とっちゃんに…」

レンとランの気 は 波動となり

リーの魂をゆさぶり リーは ふらつきながらも 立ち上がる。

「息子達の前で俺は死なん！

竜仙人 あなたから授かった 奥義で

あなたを倒す

とうっ」

そう言っ て リーは 上空 高く 舞い上がり

上空から 超急降下跳び蹴りで

竜仙人を狙う

「朱雀」

しかし 竜仙人は かわすつもりだ！

ニヤニヤしてる

「させるかあ」

ヤンは、竜仙人の足をスライディングタックルで つかんだ。 「う

ぬぬ 逃げられぬ！」

リーの 奥義が 命中 竜仙人を最後は 見事 リン やレンの波
動 そしてヤンの援助 まさに 家族の絆で 倒した！

「よ よくやった ワシは おぬしに教える事は ない

この金で 幸せに 暮らせよ」

竜仙人は ふところにあつた 日本円だと二千万を リーに
渡して息絶えた！

その金で、 リーは 武道館を開き

多くの門下生で
にぎわった！

そして翌年 11月半ば 秋の 美しい

紅葉の景色となり

道端のイチヨウ葉 カエデ もみじ が、色づき はじめた

！ 「とうちゃん 木々が 赤く燃える季節になったね んで
とうちゃん は 新しい恋でもしないの 人肌寂しい季節だよね」
と ヤンが半分からかいながら

言った

「バカ言え」

俺は そんな暇ないっつの 春には
四川省で 武術大会が開かれるだろ！？
それまでに

レン ラン ヤン お前達を 鍛え直し トーナメントで
優勝しような。

子供の部では 多分 ヤンが優勝

大人の部では 俺が優勝さ」

そう四川省で 開かれる 大武術トーナメントには、世界各国から
強者が現れる！

リーは さらに武術に磨きをかけていた。 そして四月初期 武術
トーナメントが開かれていた。

リン ラン ヤンは 少年 少女の部

で おそらくベスト8に残ったらしい？

一方

大人の部っ 日本の忍者 三光丸を 危うげなく倒し
アメリカのテキサスロングホーンを（青竜）で 倒し

決勝へ勝ち進んだリーに 驚くべき出来事が待っていた！

決勝の相手は またも日本人か？

平安時代の衣装に

お琴や 鼓 三味線の音と共に能面姿の人々が 曲とともに登場し
てきた！

真ん中の 女性らしき選手が 桜をザルから 撒き散らす 演出をしている！

そして 真ん中の女性は 胡弓を 後ろの衣装の人から 渡されいきなり 曲を奏でだした

(チョウになりたい) 「懐かしい まさか…」

ヤンは

真っ正面を見た

金色のロングヘアに 和風のメイク しかし そう

真っ正面の選手は、能面を 投げた

素顔は チェンミンだった。

「まさか チェンミン」「こちらこそ 驚きよ リー 大会にエントリーしていたなんて」

二人は 試合は せず 中央で 抱き合って涙を流した！

よって 二人は 試合放棄と見なされ

3位の者が

繰り上がり優勝を果たした！

ローマの パウロコスという ローマでは名が知れた 剣の使い手が優勝した！

こうして この後は チェンミンとリーは 再婚した！

チェンミン リー ヤン ラン レン は その後

日本に別荘を建てて 住む事になった！

日本は、戦後時代後期

リーは 当時最強と謳われた 宮本武蔵にも勝利した

唯一無二の中国人だが 残念ながら、歴史の書には 記されていない！

そしてリーは 家族と 未永く ジャパンで 平和に 暮らしたとさ めでたし めでたし

第五話 中国昔話リー伝説（後書き）

早乙女隆一が 主人公ではなく
中国のリーという

ダメ男が主人公である。

家族にも

三行半下されながら 最後は 家族の絆を強く描き

最終ボスが まさかまさかの キヤラクターになるという

予想が できないオチと

浮気ダメ男のリーが 内面的に成長する 姿を 描きました！

家族の絆 を 守り

修復するために

努力して

努力は 報われるんだと 言う事を伝えたかったので

後半かなり ミラクルな仕上がりになりました。

ご閲覧ありがとうございます

宇宙犬キャッシー

ここは、宇宙暦 二万六億光年
惑星ジュピター

ジュピターには、
体を持たない

不思議な生命体が
いた！

不思議な生命体は、
なんにでも
乗り移る能力がある

例えば 草や花
人間や 動物にも

実態を もたない
生命体だが、
そこでも 文化がある

地球歴 2012年末までには

地球人と

アクセスが

現段階より

とれるようにしていきたい！

惑星ジュピターの

長 スライムのような 体の マーシエは
地球上の 人や
自然が

大好きだ！

同じように

人や 自然が

大好きな
スライムのような宇宙生命体 キャッシーに とある任務を任
命した！

「我らジュピター一族に おいて
将来 地球人を導くであろう キャッシー そなたこ
そ

我が ジュピター一族の 予言書による
救世主なるぞ

「 お言葉ですが
わたくし キャッシーは そんな 名誉には値しない
ただの 地球外生命体です そんなこと
言われるとは…」

「 キャッシーよ
まさか 予想外とでも 言うのか？」

するとキャッシーは スライムから
いきなり 人間女性 40歳くらいの姿に 変身して
こう 言った

「予想外やあゝ」

はい 予想外 ナイスガイ
地球外生命体
と

指で、 コミカルに動作を とるキャッシー
「ナイス ギャグだ キャッシーちゃん
地球人の メシアと そなたは 出会い

地球と 惑星ジュピターを 結ぶ 架け橋と なってもらうぞよ」
「かしこまりました 確かに 2012年末以降 何かしら
地球上に 魔の手が 近寄ってきてますね 私たちが 地球人に
歩み寄り

地球人を 助けなければ ならないと思います。」

「キャッシー

地球人のメシアは

早乙女隆一 という人間だ

この映像の男だ」

いきなり 大宇宙に

でかい 鏡が あらわれた

めちゃくちゃキモい男 がいるではないか

これが 地球人 の メシア？

2012年末以降の 地球上の危機を回避するために

地上最後の 輝きとなる人物？

キャッシーは

かなり 抵抗を

覚えた！

「良いな キャッシー

地球暦1998年に そなたを

犬の姿に、そうゴールデンレトリバーにして 贈り込む

地上には

ソウルバンパイヤや 既に 我々が 感じ取れる

まがまがしい

悪の 気を 感じる 2012年末から そなたは 宇宙

犬の姿を捨て

竜神の姿

つまりは キャッシー そなたの 本来の姿が バトルサイボ

ーグに 変身して

早乙女隆一達

地球人と

忍び寄る悪や

ソウルバンパイヤを

滅ぼしてくれ

そなたに

宇宙チャクラム全てを

解放できるよう そなたの

体内に

昨日

チャクラムヒーリング2012バスターを 挿入したんだよ」

「えっ マジで？」

あたし 寝てたんで 知らなかった」

「スピリチュアルエイリアン達の呪文により、そなたが竜神に変身できる能力や 不思議な魔力を注入したのだ

ただし そなたは 不思議な魔力を 持つ宇宙犬キャッシーとして

早乙女一家に 育てられるが

そなたは 宇宙犬だと 人間達に

知らせてはならない あくまでも

しかるべき時まで犬の ふりをするのだ。

2010年くらいまでは 普通の犬の

ふりをしなさい

そなたが 動物の言葉や 全人類の言語が

1998年 で

バレたら まずいからな」

「はい

私は しかるべき地球上の危機まで

犬 普通の犬のふりをします。」

「それでは、そなたを 地球へワープさせようぞ

田中さんの 家に 子犬ゴールデンレトリバーの体で ワープ
スプラッシュ」

「キャッシーの体は　みるみるうちに

竜神になり

そして　40歳くらいの人間女性姿　いわば　バトルサイボーグ姿
になり

そして　犬に

なり

1998　3月　田中さんの家に

送り込まれた！

一方　早乙女一家では　隆一の妹　かなえ

が　「ねえ」　犬がほしい　田中さんの家　無料で　レパー

トリー引き取る方を

差がしてるんだって　ウチで　飼おうよ」

と

かなえは　両親に

相談する。

かなえは

大きな瞳　おかっぱ頭　中肉中背な

高校一年生である。　隆一は　まだ二十歳　キャッシーは、

かなえの　強引な

くらいの言動で

早乙女一家に

引き取られた。

だが

宇宙の竜神

本性を出せば

一夜にして

岡山県を　炎に　包む　エネルギーさえ秘めた　惑星ジュピター

の　生命体が

今や　ゴールデンレトリバーの子犬キャッシー

しかし 地球に来てから、記憶を無くしてしまった
キャッシー…

自分は、なにもかも忘れて 啞然としていたら
かなえは「名犬ラッシーに ちなんで
キャッシーと名付けよう」と 母 治美に 力強く言った。

父 興亜 も 見つめるキャッシー

キャッシーは、自分の名前が 偶然にしては 驚くべきことに
かなえに 言われたので 自分の使命が 少しでも 蘇った！

「キャッシー？ そうだ 私は
キャッシー？

人間の言動が そこそこ わかるけど
あえて 知らんぷり 知らんぷり
今は 犬らしく 振る舞おう。」

数時間後

兄 正樹が 到着

キャッシーは

正樹に 対して

ただならぬ

邪悪な 気を 感じた。

さらに 隆一が

キャッシーを見て

「 かわいい」

癒やされるわあ

「

といい

キャッシーの頭を

なでなで する

「 ななんだ こいつ あたし の 頭を なでなでするのは
いいが マヌケ面だな！」

そこそこ記憶喪失に 陥ってる
キャッシーは、

将来 地上最後のメシアとなる

早乙女隆一の

最強のペット

竜神になり 地球を

悪から 守る 使命さえ 忘れている！

その後のキャッシーは

人間の言葉は 相変わらず 少しし

かわからず

早乙女一家で

本当に 何年も

普通の犬として

生活していた

しかし 2001年

そう

2001年

惑星ジュピターから 多くの

エネルギー体が

宇宙ブームを 確立しようと

地球に 介入したものだ！

後に 彼らは

宇宙とアセンションを とる

スピリチュアルブームの火付け役となり

それ以降

宇宙エネルギーを

用いた

瞑想を 誕生させていくことになるのだが それは

まだ 先の 時代となる！

2011年10月の後半

早乙女隆一は、キャッシーの

ただならぬ 気

を感じとったのか もしくは

天然かは

知らないが

「なんか キャッシー 人間の言葉
わかりそうだよ」

と

キャッシーの散歩の後

母に 言った声が

犬小屋まで

聞こえた！

「 人間の言葉

はっ 思い出したわ 私の目的

いいえ

なぜに 私が この世界に いるかという

本当の意味が

「 この時 早乙女隆一の言葉から

キャッシーは

ただの犬から

宇宙犬キャッシーとして 覚醒したのだった！

隆一と 散歩を

するたびに隆一に

こちらが言葉がわかることを感ずかれたのか

「 うんまいるか？」 とか

「 あれ 柿だよ

食べてみたいか？」

「 キャッシー

返事は？」

と 毎回 隆一が

話しかけるんで

最初は 知らんぷりして

無視するはずが

なぜか

「ワン！」

と 吠えてしまう。

隆一は 家族や 友人に うちの犬

言葉が わかるんよー って 言いまくっているようだ！

隆一の母や父からも 「さんば行こう」

「ご飯にしよう」

と 聞かれたら

つい キャッシーは 本能で

「ワン」と吠えて

表情にも 表していた。

「お父さんのところに行きなさい」

とか

「ねこちゃん探しなさい」

「この足に手をのせなさい」

と

人間が キャッシーが宇宙犬とは

知るよしもないが

いろいろ人間の言葉を 試してくるから

適当に

人間を 驚かせない程度に

芸をした。

そんな ある日

隆一から

「キャッシー

人間の言葉わかるん？」

と 問われた

本当は、 全て

わかっている

だが

まだ 地球に 大異変も
起きてないし

「ワン!!はい」

と 返事を

するわけにはいかないから

あえて 黙って応えなかった

それにしても、人間は 私が お腹好いてるのに

全然 わかってくれない

家族旅行とか

早乙女一家は

よく 出かけるようだが

隆一は

空腹で 眠たい時に

「ご飯にしよう」

と 私を 起こす。

人間とは 勝手な生き物 なのか

いいや マーシエが 言ったように

地上の悪を

来るべき日に備えて 滅ぼすため

今は

人間の言葉がわかるとは 答えない

と 決めた!

時は経過して

2005年

マーシエが キャッシーの夢の中に現れた!

「久しぶりよのう

キャッシー

隆一は 人間外な

ポテンシャルを開花し始めてるぞ

摩訶不思議な夢

これから2005年以降 東北大地震 2012年 ハリ

ケーンや 富士山噴火や各地の大地震を予知出来る夢を

聖霊界の者から授かったようだ

だが 奴は

自分の不思議な力に気づいてない」

「お久しぶりです

マーシエ様

では 奴と 近い将来 タッグならぬ 愛犬または 守り犬になるためには どうしたら 良いのでしょうか？」

「隆一は 何かしら 不思議な直感で

君に話しかけるんで 徐々に 人間らしく ありなさい

また しかるべき時は 近いかもしれない

隆一が ソウルバンパイヤや パンドラ王国という 組織 から狙

われそうになったら キャッシーは

竜神となり 隆一を 守りなさい」

地上も2012年末で 何かしら あるのかわからないが

キャッシーは

隆一の言葉には

特に

そして 早乙女一家の誰が 話しかけても ある程度

言葉が わかる犬として

存在する事を決めた！

年月は 経過した。

隆一は、キャッシーに 数を 教えた！

「隆一 私が人間の言葉が わかると 直感で わかるのか？ よーし 人間の数など 私が宇宙犬だということを アピー

ルしてやるよ」

そう キャッシーは、心の中で つぶやいて 汲んであった
鍋の水を ごくごく飲んで
お座りした！

「キャッシー

1 たす2 は？」

隆一は キャッシーに 問題を出した

「ワン ワン ワン」 キャッシーは 宇宙犬を 馬鹿にするなど
言わんばかりに力強く答えた！

続けて 隆一は

2 たす2 は？

キャッシーは

「ワン ワン ワン ワン」

四回吠えた

隆一は すごい驚いた表情で なにやら

携帯のカメラで

こちらを

映してくる

だが、これ以上

相手にして

現段階で 人間の言葉が 全てわかるとか

知られたくないから 隆一の 驚く声を

聞きつけて母が

100 ひく99

と言ったが

無視した

「あれえ お母さん おかしいなあ

キャッシー さっきまで すごい計算できてたのに」

「では 母さんが問題出すよ

キャッシー

3 ひく1は

「

ワン」

キャッシーは わざと 答えを 外して

すつとぼけた

「 人間達

まだ あなた達に

私が 宇宙犬であることを

教えるわけには

いかない

だから あえて答えない時もあるが

許してくれ」

キャッシーは

心の声で 言った！

2009年

パンドラ王国からの 支配者が レッドシャドー

人間には 見えない 姿で

隆一の家を 偵察してきていた！

キャッシーは

レッドシャドー つまり 悪のパンドラからの 奴を しとめ

たいが 竜神になれない

変身できない！

パンドラ王国は、 キャッシーを一目見た時に

変身能力さえ出来ないよう 魔術を 使ったようだ！

パンドラ王国や

ソウルバンパイアに 気を 吸い込まれたり

呪いを

かけられ まくる早乙女一家の姿が

痛いほど

わかるが

どうもこうもできない

キャッシー

だから 早乙女一家の父や母が

散歩に連れ出す時

鎖を引つ張り込み

早乙女一家の家に

上がり込んで

パンドラ王国のレッドシャドーを

見つけて

呪いを

解いてやろうと

必死で 探した

家まで 上がり込んで キャッシーは

気づいた！

早乙女隆一は、

パンドラ王国のレッドシャドーが

乗り移ったやつらに 呪われている時があり

激しい 体調不良や 暴言

やら コントロール出来てない 隆一を

何度も見た！

2011年

ますます

早乙女一家に

自分が

宇宙犬であることを アピールしまくるため

あらゆる話を理解し 人間の質問に答えた！

早乙女一家は、キャッシーを

メディアに出す計画をしていた！

「いいぞ

いいぞ

私の 目的が 果たせる時が 近い

隆一も潜在能力があるから 私が ポテンシャルを 引き出す機会が 巡ってきた」

キャッシーは

メディアに 出るとき メディアで 犬語から 人間の言葉も

話せるんだと

覚悟を決めて

いた！

2010年10月10日 遂に

キャッシーが

竜神や

サイボーグになる 術を 思い出せた！ 「よっしゃ

これで 今日から

隆一の家に来る

偵察機レッドシャドーを 倒せるわ」

キャッシーは 両腕を 天に挙げたら

一気に 40歳くらいの 女性に変身した そして レッドシ

ヤドーを 見つけて

一撃のパンチをお見舞いした！

何日も何日も

レッドシャドーを倒し

10月後半

いつものように

レッドシャドーが 早乙女一家に

偵察に来るのかな？と 思っていたら、 「ククククク」

どこかしら

笑い声が 聞こえる

「ジューピタースピリチュアルオン！」

キャッシーは、サイボーグに変身した！　すると　人影みたいなものが　キャッシーを　取り囲んでるのが　わかった。
サイボーグになった　キャッシーは

動体視力も

桁違いにアップしてる

のにも　関わらず

残像から

繰り出される

蹴りにより

一撃で　キャッシーの変身は　とけた

その時

残像は　真の姿を現した

サン格拉斯でホストみたいな格好だが

肩に蜘蛛のタトウと　蛇のタトウが　刻まれてあつた。

身の毛もよだつくらい

邪悪なエナジーに

包まれていた！

「お前と　オレの決戦場は　　我がパンドラ王国に　まつわる
地獄で　決着を　つけるのだ」

急に　骸骨が　散らばった　　溶岩のような　熱い地面

赤く暗い世界

に　連れ去られたキャッシー

「ここは　我がパンドラが呼び出した
世界さ

本気になれよ

俺を倒さねば

近い将来　地上は我らのものだ

まずは　東北大地震　そして

富士山噴火だ　ハハハはハハハ」

キャッシーは

怒りから 遂に

巨大な竜神となり

愛の天使と名乗る

邪悪な男に

エネルギーの魂を 口から吐くが

全てバリアされている。

「これが 惑星ジュピターの宇宙の能力者の 実力か
せるな」 笑わ

愛の天使は、 真っ赤な体になり
体から

凄まじいばかりの妖気を出し

一瞬で 竜神キャッシーの 額に

膝蹴りを くらわした。

「これが 地上を 支配 しようとする

… パン ドラか…」

まだ 息があるなあ しぶといやつめ

愛の天使は、

強力な握力で

キャッシーのクビを 絞める！

「隆一よ いつの日か パンドラ王国愛の天使を 滅ぼ

してくれ」

心の中で そう叫んで

キャッシーは 息絶えた！

愛の天使は

悪魔の翼を広げて 上空に消え去った。

翌朝

「キャッシーが死んだる」

父が

早乙女一家に

知らせる

母は キャッシーが

ベロ出して 急死してるのに

嘆き悲しんだ

「 歳だから キャッシー死んだんよね 」

そう 早乙女隆一の両親は

言ってたが

隆一は 気づいた

キャッシーは

何者かに殺されたに 違うない

そう オレと 会ったことがあり

オレを陥れた

あいつ 中島レイキ やつに 違うない やつのせいで

裁判になったし

兄が えらい ことになってるし

うぎゃああああああああああ

隆一は、

直感が

働き 叫びまくり

放心状態に陥った。 確かに、宇宙犬キャッシーが覚醒すれば

宇宙犬キャッシーと共に 東北大地震などは 防げは しないが

被害は 最小限に

抑えられたであろう また キャッシーや 隆一は

有名人となれたであろう

だが

いつの日か

有名人となり

宇宙犬キャッシーについて 書に記してほしい

愛の天使 中島レイキを 滅ぼしてほしい 物語は、

いよいよ

黒幕が わかってきた ところで

この話は

おしまい

再び

摩訶不思議な

夢の 話に

続いていく

第七話 愛の天使レイキ（前書き）

宇宙犬キャッシー編で 現れた

愛の天使レイキ

とは、何者？

というのが この話の課題となっています！

第七話 愛の天使レイキ

時は、2009年8月、隆一は、出会い系パーティーに参加していた。

男18人 女10人だった。

隆一は、ローテーションの時に、得意分野の

ドライブやカフェや アニメの話をしたが ぜんぜん 誰とも話が
噛み合わない！

フリータイムの時に 中島レイキという 25歳の いかにも
ホスト系の男が来て

「てめえ キモイ顔してるし 不幸なオーラ丸出しだね（笑）
俺と友達にならねえか？」

と言われた。

その後フリータイムの時間

レイキと一緒にタッグを組んで 会話しようとするが

レイキが 一方的にトークして

隆一は、何もトークできなかった。

いいや 正直に言おう

自分らしくないくらい隆一は、自分が出せなかった！

パーティーが終わった後 レイキはカップル成立した事を

隆一に自慢した。

「君 キモイ

話 噛み合ってねえなあ

生理的に　ぱねえ

ハハハ　これが、俺と君の差だよ。」

レイキは、不適に微笑んだ！

隆一は　最近

携帯小説でファンタジー夢日記という壮大な

小説を　途中で間違えて　削除した事や

なぜかしら

落ち度がないのに

働いていた仕事が

四回行っただけで

クビなったり

好きでも

ない女　年増に追いかけている事など　病んでいた！

病んでいる最中

いきなり

とあるSNSサイトから

愛の天使と　名乗る男から　メールが来た！

「貴様は　浮気や二股を何年やってるんだ

刑務所へ行くべきだ　俺はヒットマンだ！」

と　愛の天使を名乗る奴からメールが来た！

隆一は

めちやくちやム力ついたから

メールのやりとりで　喧嘩に　なり

とある

岡山県のあるジムで

奴とK1ルールで、　戦う事になった。

リングに　上がり

ノーセコンドで

3分3Rで試合することになった！

が、愛の天使とは　どんな体格や顔だろうか？
と思い

先に隆一はリングインしていたら
EXILEの曲に　合わせて

右肩に愛の天使とタトゥーを入れて
他にも

タトゥーが刻まれた　男

そう　こないだの　パーティーで出会った　レイキが　愛の天使だ
った。

奴は、不気味なオーラで入場してきた！

「キモイんだよ！

てめえ　地獄へ落ちろ！」

とレイキは

隆一に

罵声を浴びせた！

レイキは、身長165

体重50　で

隆一の身長172

体重58と比べたら小柄だった！

隆一は、早く

ゴングが鳴らないか　うずうずしていた！
しばらくして

審判らしき人が

「両者　中央に」

はい！　ラウンド　ワン！」

ゴングが　場外から鳴った。

隆一は、ムカついたから
熱くなりまくっていた！

いきなりレイキに

強烈なローキックを 出した

ら！

なんとレイキにカットされ

レイキは ニヤリと笑い その姿を見た

隆一は 本当に

奴の言葉とかに

苛立ちを感じて

ぶっ倒してやりたくなり

いきなり インファイトで 勝負をかけた！

左ジャブ 右フック左ボディ 右ロー

さらに ジャンピンパンチ まで 出したが

隆一の 実力以上の タイミングとスピード

パワーに満ちて

いた

が

全ての攻撃がガードされ

隆一は、 さらに イラついて

必殺の二段蹴りを出した。

二段蹴りも よけられ あわてて

右ロングフックを出したら、レイキの

左ボディを

腹の真ん中にカウンターで くらった隆一！

涙がでるほど

悔しくて 悲しかった！

隆一は 倒れて

10カウント聞いた！

1 R 2 5 秒 で

秒殺 K O 負けを喫して涙した。

その上

隆一は、レイキが

連れてきた

ヤクザ組織に縛られ 「こいつを 刑務所にぶちこみな！」

と言われ

隆一は、意識朦朧しながら

監獄へ入れられた！

しばらくして 愛の天使 すなわちレイキから メールが来た！

「貴様は、女にモテるとか ほざいていたが あれは、俺様が

超洗脳術によって

洗脳した女が機械的に命令どおり

お前を好きになるという 仕掛けだったんだよ！

貴様は 仕事も できない 何もできやしない 迷惑な存在なんだ

よ！

2 チャンネルで貴様の顔写真 や アドレスとか 貼り付けてやる

！ 貴様の 人生は これで 終わりだ！ね」

「俺は 悔しさの あまり 新しい力が… そう エンター

テイナーの力が」

隆一は 愛の天使レイキに 気づかれないよう 心の声で 叫んで

いた が

愛の天使レイキは

エンターテイメント番組

格闘技番組は 我ら 堕天使一族により近い将来 消えてるわ

ワハハハハ

愛の天使レイキは、 高笑いして 夢の世界から消えた！

隆一は悔しさと悲しみで 「うあああああああああ」

と叫んだら 目を覚ましたら
警察が いた！
なんて 悪夢だったんだ！

第七話 愛の天使レイキ（後書き）

人は 誰しも

トラウマや 抱えている悩みがあると
何らかの

今 興味がある

何かが夢になり現れます。 例えば

この夢日記では

格闘技が舞台となる夢になってます

悪夢は、誰しも見ます。

ドリームキー探しの旅に出た 隆一も

悪夢 後味が悪い悪夢を見ました。

だが 愛の天使レイキは 何かしら

夢日記小説の鍵を握っているような
気がしますね

1984 健太郎の夢の中へ（前書き）

1984 隆一と 高校で 知り合う事になる

隆一の大親友

健太郎の夏の ある日に 見た

夢の話が

今回の趣旨となっています

1984 健太郎の夢の中へ

時は、バブル全盛期　まだ　世界に
人情味があり

ちまたでは

青春　ってなんなんだ　という感じで

青春に　ちなんだ

アニメやドラマが盛んな時代！

NHKでは、おしんを　放送していた

1984年の夏の話！

健太郎は、自分の部屋で

寝ていたら

いろんな猫が何匹も窓の外で

泣いているから、

一匹だけ

白い猫を入れてやった。

しかし猫は、落ち着かず、なんだか
すごい　脅えている様子だ！

だから

部屋から追い出した。

次に　三毛猫を寝間に入れてやったら
しばらくして

猫が

「助けてよ　出せ」

つて隆一　に言ってきたので、
猫が人間の言葉を話したのに
びっくりした

健太郎は、素早く

猫を

外に出した。

そして 部屋の外から 大きな 人影
が

あらわれた と思うと人間より
大きく

虎の格好をした
化け猫が

「我は、虎王、猫は いなか？ ガルルルル
って言いつつ、

天井に張り付いて
いるではないか！

健太郎は、怖くて
心の中で

「助けて」
とか

「どっかいけ」
と

言いたくても声が
出ない！

とりあえず

虎王は消えた！
急いで

自分の部屋から下駄を履いて
少し離れた

両親の部屋に先程おこった怖い話を伝えにいかうとした！

両親の寝間の前の端にトイレがあるので、そこで庭を眺めつつ、小便をしていると、庭から

白い袴を着て、首が長い

白い顔の竜が通り過ぎつつ、

こう言ってきた。

「ワシの生贄は、

猫の次は

なんじゃああ」

って！

健太郎は、「お前は、何者だい」

と叫んだ。つもりが

声が不思議と出ない！

とりあえず

両親のいる寝間に入ろうとしたら

庭の方で、半獣半人の化け物の姿も見えたので、急いで

両親の元へ行った。

安心して、両親の元で寝る事が許された

健太郎だが、

うとうとしていたら

「うおおおん」

という

変な響き声で

目が覚めた！

目が覚めたら、

すぐそばに

先程、一人で小便をしている時に、現れた
白竜王が

目の前に いるではないか！

両親も びっくりして 「うにゃうにゃ うにゃうにゃぎぎー！」

んん？ 声にもならない 何か

言葉を出そうとするが びっくりしまくっているんで

うまく言葉に

出せないのだろう。

しばらくして

「ば ば けもの」 ようやく単語が 出てきた様子。

そして

白い竜の王が、

健太郎に向かって

「貴様等 ワシらの 生贄にしてやる」

って言ってきた。

だが

健太郎は、こんな

ピンチの時に

なぜに！ って

つつこみたくような 衝撃的な発言をした。

「君は、魔界からの使いでしょ？」

と 白竜王も

思わず 真っ青になるような言葉を言った。

そして一瞬 驚きで化け物は 体をのけぞった。

矢継ぎ早に

健太郎は、

「俺にも 教えてくれ 魔界の魔法を！

そして君らの

仲間に なりたい」

と 化け物に

向かって言ってしまった。

健太郎は

子供ながらに

内心 (あっちゃあ

僕

恐怖で、

めちゃくちゃなこと

言ったわあ

やばい

マジで

喰われるわ)

と思っていた。

だが、

しかし それを聞いた 化け物は

「了解した」

と うなづいた！

白竜王は、

「人間にしては、いい度胸しておるのう？

ワシら

魔界人の仲

間に しても面白いかもしれぬな」

「 あんたたちの仲間？ そしたら

俺を このポジションに 置いてくれるの？ なんだか 楽しい

遊びとかも あるの？」

(健太郎は またしても 大胆 かつ 健太郎が健太郎らしくない

発言を してしまった)

「では しばし 目をつむり こちらを見るな！」

と白竜王は

言って

手を 健太郎の頭に かざし

「 うなうなうなぎ」

おかしな魔法を 唱えだした

思わず

笑いそうになる

健太郎

つい 細目で

白竜王が 何をしているのか
見たら

両手を あわせて

体を くねくねさせながら

うなぎが

滝昇りをしているように

白竜王は、

「うな うな うなぎ」

と 言いながら

本当に

トンチンカンな

動きをしていた！

「ぷぷつ（笑）」

思わず

吹き出してしまう

健太郎

白竜王は、

赤面しながら

言った。

そなたは

魔界人の王となり

あらゆる世界の

覇者となる

素質を 秘めておる、

話に聴く

堕天使や

異世界のものらより

No.1となり

地上を支配するのだ

宇宙惑星ジュピターや

我ら 魔界人こそ

そなたは

ソウルバンパイヤ大王に なるのだ！

「 え ええゝっ 俺が ソウルバンパイヤ？ なんや
なんやあ」

健太郎は 驚きと疑い 半分半分つてところだ！

「なぜなら そなたには かつて 堕天使族に 滅ぼされた
ソウルバンパイヤ大王マーサ様の血が流れておる

きつと そなたは

マーサ様以上の

ソウルバンパイヤになり この世界を牛耳るだろう」

「俺は、ソウルバンパイヤになんか なりたくないよ」
健太郎は 泣きそうになる。

「 ソウルバンパイヤとは 今 テレビで放送してる 豚肉マン？かな
より強くなれるぞ」
「なんだか かつこよいなあ」

「しかも ソウルバンパイヤになれば
将来 現れる

君の 友人 や知人
人間離れした人から 気

を 奪い取っていけば、
そなたには
不思議な 力
が 宿るだろう」

（白竜王達、魔界人の目的は、ソウルバンパイヤマーサの後継者
を 選ぶ

ソウルバンパイヤが 奪い取った
気

を 自分たちにも
わけてもらい

より完璧な 化け物にしてみらおうという 巧妙な
たくらみが

あった

まるで白竜王は、妖怪王 ぬらりなんちゃら
みたいだった！

「俺 ソウルバンパイヤになるよ!!」
「フオフオフオ

なら 術を

少しずつ

おぬしに 教えて差し上げよう。

「と白竜王が 言ってる間に

部屋の外から

半獣半人と虎王が

「猫は喰いあきたぜ！ そっちにいる人間食べたいぜ！

白竜王も 一瞬に そいつら人間喰おうや」

と 外から 化け物の声がする！

「待て 待てえい！

この少年は、我らの 新しい アイドル

じゃ

たのきんより アル意味頼りになるぞよ！ いもきんよりも

「

「白竜王殿 そやつが 我らの仲間かいな？」

？マークが 浮かんでるような表情になる化け物達

「そうだ

だから この少年を 侮辱することは許さん」

「 よいか 少年よ

ワシに術を

習いたかったら

ゲームでも

アニメでも

映画 でも 映像を

見せる！

そなたにも

同じ技が 使える

ように術を学ばせるから」

何が何だか わからない健太郎。 健太郎は、とっさにそばに あ

った合体ロボ漫画を店「じゃあ この超電地なんとかという技も出
せるようになるのかな？」

「うぬぬ 健太郎め なかなか鋭い質問するわい とりあえず

魔界へ行くぞ」

化け物達と健太郎は、急に 姿が消えた！ 堕天使族 いわば愛

の天使だけでなく

ソウルバンパイア率いる 魔界人 話の先が読めないことに…

1984 健太郎の夢の中へ（後書き）

健太郎が まさか

白竜王を

手玉にとるとは

やはり

ソウルバンパイアの 血が

流れているのか

と思わせる話でした！

魂を吸い取る

魔術

後の章 では

より 魔界でパワーアップした

健太郎が 登場してくるだろう。

第9話 近未来2059（前書き）

2009年 闇の組織に 催眠スプレーを かけられ
目が覚めたら

50年経っていた！ そんな 夢の話です！ 介護にもつながる
用語や

介護あるある的な 話になってます。

第9話 近未来2059

辺りは、薄暗く 人っ子一人いない商店街で、隆一は、何も考えずに 歩いていた！

数分後、商店街の両脇から 怪しい人影が複数現れた！

「覚悟〜！」

隆一は、わけもわからないまま 催眠スプレーみたいな液体をかけられ眠りにおちた！

朦朧とした記憶の中で 覚えているのは、冷凍庫みたいな
ところへ入れられた記憶のみ！

どれくらい 静寂の中で 眠っていたのだろうか？

たくさんのロボットが 何やら作業をしていた。

「ここはどこ？

私は誰？」

と隆一は叫んだ。

すると全長3mはあろうかという全身メタルなロボットが来て、

「オマエハ ゴジウネンカン ヤミノ

ソシキ ニ トラワレ ネムツテイタ

イマカラ オマエノ スム

コキヨウ ニ カエルゾ」

メタルロボットは、隆一を 機械だらけの工場の端の煙突まで 連れて行き

何やら 行き先ボタンを押している！

隆一の体は、すうっと 溶けるように消えた！
西暦2059年の
故郷？についた。

映画などで見られる近未来都市ではなく 荒涼とした感じで
どちらかといえば
レトロチックだ！

少し 近代的な建物もあるようだ。
街を行き交う人々は、全身金タイツに
サングラスだったり マスクを かぶっていたり
金色ヘアの人が

多く見られた。

2009年と違い

華やかで まばゆい

近未来だ！

隆一は、2009年 あの眠らされるまでに知っていた

家族や友人を探した。

森という森は なく カプセルハウスみたいな家やスーパーが

並ぶ

町やレトロな感じの ポスターや

建物を 軒並み走り抜け

なんとか

2009年当時 自分の住んでいた
家に行った！

すると、全身金タイツの夫婦が出てきて「あの家族は2014年以来 行方不明だ…

どうしたもんだらうね？

だからといって ここへは 君を 住まわせぬぞ」

「じゃあ 僕は どうすれば いい？」

「たちまち君は 生活費もないし 働く事が必要と なってくるね
ここから1・5km先に

特別養護老人ホームがある！

そこは

ウチの知り合いの医院長もいるし
その寮で

寝泊まりすれば良い」

「ありがとうございます。」

と笑顔で 言った！

「あっ それと 日払い制だから これから君は 生活費に困る事
はないだらうね」

3日後から、その施設で働く事になった！ 初日は 見学だけだが
2009年より 派手な格好をした利用者さんが
案の定 多かった！

認知症の方が

ほとんどで

寝たきり 片麻痺

などの利用者さんも 多かった！

二日目

隆一は、医院長田中さんに カルテを見せてもらった！

黒縁メガネに角刈り そしてジャージ姿で やや 強面の医院長だ

：

そこで隆一が見たものは 2009年当時 隆一が知っている名前の人々が 多数カルテに書いてあり、利用者さんに なっているんで めちゃめちゃショックをうけてカルテを 見ながら 手を震わす隆一！

隆一の知っている

BさんやCさんは、全身麻痺していて

目だけが 隆一を

追っている！

隆一の50年前を 覚えているのか

隆一の視線に気づいた 元 隆一と 関わりがあった人々は

涙を流して 隆一を 見ていた！

全身麻痺だけでなく あ あ … あ こ こんにちは

ち は とか 本当に言葉だけと言葉じゃない会話しか

彼らとはできない！

他にも

50年前

隆一と知り合いだった方々がいたが

全員 車椅子生活で、話しかけても

隆一のことなど

何も 覚えていない様子

50年前流行った

アニメやアイドルの 話が 多かった

ふりつけして

EXILEの真似してる知り合いもいた！

笑っては いけないが つい

無様 失礼

80を超えた老体で EXILEや

モー娘を 踊る姿は 涙が できるほど
面白くて

笑わずに平静な顔を しているのに 努力が必要な隆…
当時 隆一と関わりがある人々の

あまりの変貌ぶりに がっかり肩をおろす隆一
そんな中

頭の髪の毛は ふさふさして

シワは あるが当時の面影

そのままのZ君が 隆一に 気づいて こう言った！

「ワシは、お前を覚えているぞ 昔
よく遊んだね。」

50年以上 姿を見せなかったから
ワシらは すごく心配してたよ」

車椅子から両手を大きく動かしながらZ君は近づいてくる。

「Z君 こんなに年とってしまつて

でも 君に 出会えて嬉しい」「ワシもじゃ」お互い 近づいて
握手して、次に

何か語りたい 語り尽くせぬ50年を 彼から聴こうと思つたら、
この夢は 終わった！ 2059年 もし 地球人が変わりなく存
続するなら

こんな未来も あり得るのかもしれない！

第9話 近未来2059（後書き）

近未来が 隆一の夢では

今までの 映画やアニメにはない

斬新な近未来で

思わず

笑ってしまった読者も

いらっしやるのでは？

本当に 地球人が 今と変わりなく

存続するなら

こんな未来 あるある

なんかもね。

愛の天使の夢（前書き）

愛の天使 裁きの時に見た
夢：

それは、愛の天使レイキが
天上界を

裏切った時からの記憶から
はじまった！

ソウルバンパイア大王マーサも登場します。
息もつかせぬ

ファンタジー
に

皆さん
びっくらこいてください。

愛の天使の夢

俺は、眠ったのか… それにしても

地上 聖霊軍

イエスキリスト直属の

親衛隊の

ネガティブバスターという

光の玉に閉じ込められ

俺は、意識を失った…

なんだか

意識が 薄れて

いく！

記憶が

走馬灯のように

駆け巡る！

なんなんだ

この感覚

俺は

人間

中島レイキの体を

取り込んで

いたが

人間体にもなれない

なんなんだ

霊体にもなれない

体がない

俺は 死ぬのか？

愛の天使の薄れゆく 記憶が

見たものは、

西暦前　ノアの生きていた時代

神に敵対し人間を

邪魔する

堕天使族は、

ネフィリム（当時　巨人族と言われていて人間より　遥かに強く
巨人であり　力が強く　破壊と　娯楽を　知り尽くした一族）とな
り

世界の　よりすぐりの女と

性交しては

捨て

性交しては捨てるの

繰り返し

人間どもからは

強奪と暴力以外は

何もしなかった！

天上界にいた時は、　イエスキリストの

教え子達の

神の教え

自然界についての授業や

罪深い人々を癒やすメンタルケアの授業や

魔法術

攻撃用のブラック魔法

回復用のホワイト魔法があるが

俺達は、

常に

ブラック魔法ばかりに、興味があり

仕方なかったぜ

友人の　サムや

グレコや

アーノルドたちと

魔法ごっこかしていたし

地上では

人間達に

ブラック魔法を かけて

生きた人間をカエルにしたり

石にしたり

海に クラーケンという

巨大イカのモンスターを

量産していた時代が あったなあ。

ノアの時代

ノアは、

箱船を作り出し

天上界から四十日四十夜 降り続ける

雨は、ひどかったぜ！

サムには 人間界に

マジで 愛する人がいたが

ネフィリムの姿を消して

霊体となり

天上界に 逃げ込みやがったし

四十日後

ノアの箱船の中の

人間や 動物以外は 誰ひとり

地球人は生き残らなかったな ふっ

愛の天使は

不敵に笑みを浮かべる。

地上では

特に、様々なモンスターを

作り出した！
ギリシャでは
メデューサ
海には
クラーケン
地上には ゴブリン
空には ドラゴン
宇宙にも
エイリアンなどを
作り出し
いつの時代にも
我ら墮天使族が
全知全能となろうとしていた！
グリムという地上人が
我ら墮天使族の結晶である
モンスターを
面白おかしく書いてやがったな…

当然

俺達

墮天使も

モンスターに化けることは

できないが

様々な人間に化けて 憑依して

戦争を 起こしてきたものだ！

人間には憑依できるのだ！

だが

ソウルバンパイヤとかいう

要は 吸血鬼の特色型が

地上に

現れはじめて

奴らは

地上人に恋をしたふりをして

生き血を吸い込み

生き残り

力を増していく

我ら堕天使族も

犠牲に なった

そう 17世紀

パリでの話は忘れない！

時は、17世紀

人間界の女性エリザベトに憑依して

エリザベトの

心にある

悪を支配するはずだった サム

だが エリザベトに憑依したサムの行動は、当時のソウルバンパイ
ヤに やられた！ 当時のソウルバンパイヤ大王マーサにより…

「やあ エリザベト 今夜も この フランシスコパブ へ
いらっしやいましたか？」

「ええ この店の

ワインは ビードロのような口当たり

きらめく星のような臭い 真珠のような味がします

あなたの 凛々しい姿みたいだわ」

エリザベト　当時　　　　フランスで流行りの　　胸元が　チラ
リと見える　ドレスに　赤い靴　赤い神
フランス人形そのものの顔立ち
で　エリザベトは

人々から　すごい人気があり
フランスファッションショーで　優勝したほどだ
しかし彼女は　１５歳の時には　　両親を　吸血鬼　バンパイヤ大
王マーサと名乗るものに殺され
ずっと　憎しみで満ちていた
親しい　お手伝いさんが
そう

バンパイヤで
エリザベトの父親の親友であり
国王である　ラー

が　バンパイヤ大王マーサだったらしい？
だから　その憎しみの心に　堕天使サムは　　エリザベトに乗り
移った！

この店のマスターに宿る血の匂い
まさに　ソウルバンパイヤ大王マーサと同じ
このマスター　ジャック　　ちょびひげだが　短髪で
オシャレな　ドイツ風のいでたち　のマスターこそ
憎き　ソウルバンパイヤ

堕天使族に　とっても目の上のたんこぶ的な存在

「今日　店が　終わった後
店裏の　踊り子の館マーニヤで
マスタージャックさんと　あたし　一緒に　踊りたいの」
サムが憑依した

エリザベトは、言葉巧みに

ジャックを誘惑する 目的は 憑依しているだけに
ジャックが ひとりになった時

エリザベトの体から サムの
筋肉隆々とした

翼が生えた

中年 マリオみたいな外見で

得意の 打撃で

ジャック つまり

バンパイア大王マーサごと

ぶちのめす 目論見だったらしい

が 目論見は、見事に 失敗に終わった！
店が閉店して

マーサと二人きりに なった時

エリザベトの意識が 強かったのか しらないが

エリザベトの意識レベルの中で

サムが

行動出来ない

霊体サムの姿に なれない

な なぜなんだ

サムは 焦った

焦りに焦った

エリザベト は、人間には 珍しい

スピリチュアルな

精神を しており

日々 憑依してくる 何かに

内心きづいており

美しい滝や

花園

山

湖から いただく

神聖な 気

を 取り込む 修行をしていたので

サムに 完全に

体を

のつとられる前に

サムを

心の中の小宇宙コスモの中で

眠らせた！

そして

ソウルバンパイヤ大王マーサの 乗り移ったままの

マスタージャックは エリザベトと

ともに

踊り子の館マーニヤまで 行った

たくさんのお踊り子が シャンデリアや

骨董品や ちりばめられた ダイヤや ルビーの 椅子や

テーブルの間を

ぬいながら

踊っていた！

マーサとエリザベトは

その中でも

ひとときわ美しさが

際立っていた！

いきなり マーサは、大きな声で 抑揚をつけて叫んだ

「 やあ 皆さん

今夜も盛大なダンスパーティーへ ようこそ

私は 裏の バーで

マスターを してます ジャックと 申します

今日 も 皆様に美味しい 自家製ワインを作って差し上げましょう」

ジャックは 深々と

お辞儀をした！

「おおお ジャック 今日も とびきりのワイン頼むぜ」

「 あなたのワインは 世界一よ」

「 踊りの一息に まさに うってつけやねんなあ」

あらゆる人々が

ジャックのワインに 惚れ込み

ワインを 心待ちにしていたようだ！

ジャックは、ひとりひとりに

丁寧

甘いにおいのするワインを注ぎ

全員が ワイングラスを手を持ったのを

確認して

「乾杯 お疲れ様です さあ

ショータイムの

はじまりです

うふふふ」

後半 かなり 意味深な 不気味な笑いで お客に 声をかける

踊り子マーニャに来ていた人々は、ワインを 一気に 飲み干した

！

すると

踊り子達は、皆

動きが ぎこちなくなり

お互いのパートナーの首を

噛みつき

先に噛まれた者は

一気に

首から血を吸い取られていた！

踊りの館は

一気に

死のソウルバンパイア大王マーサのショーとなった！

「カッカッカッ！」

私の 存在は

バンパイアやメデューサ

エイリアンなどの頂点に

立つものだ」

ソウルバンパイア大王マーサの横にいた エリザベトは、

エリザベトの意識と 堕天使サムが 交互に 入れ替わる

堕天使サムの意識になった時、

サムは、エリザベトに憑依して抜け出せないままの姿

エリザベトの顔を

真っ赤にさせながら 力強く はつきり言った！

「ぬぬぬ 俺達、 堕天使を なめるなよ 悪魔サタン様にかかれば 貴様なんか 一瞬で 灰になるぜ 俺を エリザベトの体から 出しやがれ この卑怯者め！」

「フン！ 弱い犬ほどよく吠える！

噂に聴く堕天使とやらの 実力を拝見したが 私の 術も とけぬ
お前は 私が 直接 手を くだす 事もない かと
いつて この類い希なる美しい エリザベトを吸血するわけにも
いかない カッカッカッ！」

急に エリザベトの意識になり エリザベトは こう言った

「 きゃー

悪夢だわ

あの日の悪夢を
思い出す わ

これって夢か 現実か どっち？」

と エリザベトは 叫んだら、

どっち？の かけ声に反応した

魔界のモンスター

ゴブリンが 現れて

どっちだけに ドツチボール ボクシング エアロビクスと

一気に エリザベトに 三段攻撃！

エリザベトは

気絶して、

サムの 意識が

戻った！

「魔界のゴブリンまで おでましかい

なら 俺も 裏の手

を使う

ペケポン アーメン ペケポン アーメン ペケポン

ポン チ ポン アンポンタン！」

おかしな

呪文を

唱えたら

サムの親友の

墮天使 愛の天使が 召喚された！

「サム お前 エリザベトの中に 閉じ込められて 何もで

きないんだな

よし 俺が マーサを 倒して 救い出してやる」

「すまねえ 愛の天使レイキ

墮天使の力を見せてやれ」

「はぁ あぁ あぁ あぁ」

愛の天使レイキは、親父みたいな格好 全身ブラックな服
を 筋肉の膨張^{エクスパクション}で破り 中から 蛇や竜のタトゥーと
大きな翼姿の肉体美しい
裸体と なった！愛の天使レイキ！

砕け散れ
魔界の大王マーサよ！

愛の天使は、蛇のタトゥーから
本物の大蛇を取り出し
「秘技 大蛇 大いなるサタンの絞り込み蛇体撃！」

大蛇が マーサを
絞り込みあげるが
マーサは
「さすがに なかなか やるなあ
しかし

ふん！」
大蛇を バラバラにした！
すると

愛の天使の蛇タトゥーから 大出血
「ば ばかな…

悪夢サタン様より
受け継いだ
秘技だったのに！
破られるなんて！」

エリザベトの体から サムが 言った！
「竜のタトゥーから 竜魔剣を 召喚しろ 愛の天使レイキ！

あの刀なら

ドラゴンの体も斬り裂けるはず！」

愛の天使レイキは、 竜のタトウーから
竜魔剣という

ドラゴンの紋章が刻まれた 剣を
召喚した！

刀の切れ味こそ
ないが

重い一撃を与えるための 超重量級の剣

その剣で ひとふり
ガシャ

なんと 素早く動いた マーサの体を
かすらせた

愛の天使レイキが
万全なら
間違いなく

今の 一撃で
マーサをしとめていたはず？

しかし かすっただけで

この威力
さらに 笑みを

浮かべながら

追撃態勢の愛の天使

「 ま まさか堕天使とやらの実力が

これほどまでとはな…
やるしかない」

あれを

「何を　びびって
ぶつぶつ　言ってやがる
くらえーっ！」

その時
マーサの目から
まばゆい光が
愛の天使レイキを
照らし

「　目　目　が…」
攻撃態勢に移れない　レイキ…
その隙について
マーサは　レイキと　間合いをはかって
「しばし　石となれ　ストーンスプラッシュ」
マーサの魔法で、
愛の天使レイキは、石化した。

「はあ　はあ
てこずらせおって　我は、　もう
パワーが　残っておらん　ここで　ソウルバンパイアの最強奥
義を使うぞ！」

マーサは、
エリザベトの体を宙に　浮かしはじめた

「　何をする気だ　　あが　あががが

ほげげ
意識 い…し
が…」 き…

サムの気
は、
全て

マーサの 秘密の吸収技により
吸い取られていたサムは、 魂ごと
ソウルバンパイヤ大王マーサに 吸い取られ エリザベトの中で
息絶えた！

エリザベトは、その場で 気絶した。

愛の天使レイキは、その場では
何も出来なかった。 今
なんで 俺の中で 親友サムや
かつての ソウルバンパイヤの王について 思い出すのか
疑問に 思う
愛の天使レイキ！

彼は、 その後も
地上の悪の組織
いわば
闇組織を牛耳り
暗躍するのだが

天上界から

落とされた

新米墮天使ダリス

丸坊主で

細身 細目

だが 頭脳明晰で

常に 天上界では

とても

デンジャラスだが、 いじめがいがある

事を 企んだ。

目立った活躍をしていた 彼と 遭遇し

地上西暦1973年1月6日

キリストの後継者ではないかと

言わんばかりの

天上界の 落とし子が

早乙女一家に

生まれるとの事で

天上界では、

おおいに

聖霊達が

祝杯を あげていたようだ！

愛の天使レイキは、 早乙女一家に行き

1月1日

早乙女魔沙樹 が 生まれる 前に

早乙女治美の

クビを 狙うため、 シャドウの姿になり 早乙女治美の寝てい

る夜を

狙っていたが

ある考え

絶対なる 悪魔しか 思いもつかないくらい
忌み嫌うべき考えが よぎった！

（今 早乙女治美や 早乙女魔沙樹を殺すのもいいが

早乙女魔沙樹の 超人パワーを 後に生まれる 早乙女治美の子供
に 力を

分散させてやる
そうすれば

早乙女魔沙樹のパワーは、 半分となり 地上 では 中途半
端な 活動しか できない いや
うまくいけば

やつは 公務員で一生を 終えるだろう
そして

魔沙樹のパワーの残りカスは、
1977年に 生まれるよう 俺が 魔術を かけようぞ

1977年生まれ の 魔沙樹のパワーの
残りカスは

社会的に くずになるだろう…

ただ 聖霊達の落とし子だけに

やつらが 合体すれば 本当に イエスキリストみたいな
救世主になり

我ら闇組織にとっては 大きな痛手

そう ならば

お互いが 将来

喧嘩仲違いする

書物 呪いの書物を 治美に 食わせてやれ）
ボラギノールナオール ボラギノール ボツケーノール

愛の天使レイキは、治美の体内に

不思議な

聖書ならぬ

分厚い 書物

そう呪いの書物を

早乙女治美の体内に 入れて

いわば 食わせた状態に させたのだった！
こうして

1977年

11月22日この物語の主人公

早乙女隆一が誕生するわけだが

文字通り

愛の天使レイキの呪いの とうり

隆一は、地上では

くず扱いされていた！ さらに 愛の天使レイキは、

隆一が10歳の時

彼の親友となり

彼を

本来なら

守るために

隆一の住む町に

遣わされた！

もっちゃん

という

がたいのでかい隆一の同級生に

とんでもない

企みをしかけた

その

とんでもない企みとは
いったい

何？

って

読者の 皆さん〜

大喜利 しちゃいましょう

こんな展開

マジ

予想外

そう

予想外

ナイスガイ

エルムガイ

ムガイ ガイガイ

害虫以下の考え

愛の天使レイキ

ララララララ

って

結局 歌うんかい（笑）

さておき、 もっちゃんに 現れた

ホスト姿 サングラス の

愛の天使レイキは、 もっちゃんに

こう言った！

「お前 将来

何に なりたいんだい？」

「お兄さんだれ？」

なんだか

怖いよ」

僕を 誘拐するの？」

泣きそうになり

逃げ腰の

もっちゃん

待て！

もっちゃんの襟を掴みあげ

笑みを浮かべながら 「お前 何になりたいんだい？」

質問に 答えなければ 誘拐じゃあすまないよ フッフ」

「 た 助けて」

僕のとうちゃん

警察官だよ」

逃げようとする

もっちゃん

そこで 愛の天使は、 体を 残像 させて もっちゃん

を 取り囲む

「しょうがないなあ 君

前金 受け取りな！ そして君の好きな

RPGの カセット 今 ？まで

でてるから

全とと サントラと 写真集

そして未来に登場する 4も プレゼントしよう」

愛の天使は

さすがに 堕天使だけに悪知恵を超えた

悪質な考えで

もっちゃんを

丸め込む。

「すげー

兄さん すげー

嬉しい

僕 兄さんの事

悪い人かと思ってたんだ。

ごめんなさい。

お兄さんの言う事

を何でも聴くよ!」

(フン! 子供は

素直だ

その素直な心に

悪を植え付けるのが 俺の仕事)

愛の天使は、もっちゃんの 目から 額

目の後ろと

まるで 脳心理学者がトラウマで

悩む 患者を

洗脳するかのように

もっちゃんの

海馬(脳の中の物質)に

語りかける!

「君は、隆一君とは 面識あるよね
彼を どう思う?」

「かつこいいかわいい 頼りになるし
家では

人気者

しかし

そして 学校の いじめっこ? には

態度が 急変して

おとなしいやつに変わる

なんか あるのかな！ でも 彼といると
楽しい

もつと彼と仲良くなりたいたいんだ！」

もっちゃんは、 愛の天使レイキに睨まれながら

本心が

子供ながらの考え

純な考えが

言葉に出た！

「 なるほどな… だが

隆一を 小学校時代か 中学生に

なつてでもいいから 殺せ…

そうすれば

そなたに

一生困らない大金と 戦士の力 賢者の知恵 魔法使いの魔法

全てを 将来

与える！

とりあえず

今 お前が クリアできない で

困っている

そのゲームの裏の裏まで

遊びつくせるように 俺は 力を 与えた

もっちゃんよ

君は 今日から勇者だ！

悪である

隆一という

ラスボスを滅ぼし

日本を

平和な世界にせよ!!」

愛の天使レイキは、
邪気
右脳 も左脳にも

を 注入するがごとく

もっちゃんに

語りかけ

もっちゃんは、

不思議な 感覚

いわば

「これって 夢か？現実か どっち？」

と 朦朧しながら言い出したんで

どっち？ ドッチボール！

と言って

もっちゃんに

ドッチボールを

後頭部

に

ぶつけたら

急に

洗脳戦士

もっちゃんが

覚醒し

「兄さん のギャグ

すべってるで

すべる話やなあ」

そして さらに

もっちゃんは

踊り出した！

「すべる話やあゝ

すべる魚は

うな うな うなぎゝ

もっちゃんは、

うなぎに

姿を変えられ、

堕天使一味に

連れ去られ、

隆一を

今後

どう

いじめに

見せかけて

亡き者にするのか

うけるので あった！

もっちゃんは

隆一を

情け

本능が

戻り

地上で中学生時代

追い詰めまくるが

もっちゃんの 優しい良心が

邪魔して

隆一を しとめきれずにいた！

愛の天使レイキは、 しばらく

隆一の

潜在能力

堕天使の魔術さえ

打ち勝つ

火事場のバカ力の

すごさに

感服して

しばし

彼を 自由にしたのだ！

「 隆一の奴

あの地獄の いじめに 耐え抜きやがった

たいしたもんだ

だが

やつは この世界で いじめに 耐え抜いたから

もう 火事場の潜在能力はないはず

役立たず

モテない

だまされる

弱い 惨めなやつ

くずの はず
「

愛の天使レイキは、
隆一が

魔沙樹の

残りカスしかないと 甘く見ていたため

えらい目に合う

まさに 想定外！

彼は

後に

二十代半ばから

覚醒して

不思議な力に目覚めはじめる！

モチキたるものが

彼には

不思議な力で

永久に

起こる。

なぜ なぜなんだ

一時期

彼の 前に 現れたこともある 俺

そう

そして

奴を

罪人に 仕立て上げた 2009年夏

しかし

その年末には

彼は

スピリチュアルなパワーと

コメディに

開花するなんて

ならば

彼の兄 が

隆一と合体して

超聖人に

なる前に 邪魔して 人生を 狂わせば

フフフ… 魔沙樹が結婚する時

魔沙樹の嫁に 魔術をかけさえすれば フフフ…

近いうちに 魔沙樹は 再び隆一と一緒に住むが 仲違いから

隆一の 覚醒は 止まるはず フッフ

笑いが 止ま

らないぜ フッフ

隆一の奴

本来なら

芸能人が 何か小説家に なれていても

おかしくないが

フッフ

堕天使一味の存在まで気づいた

あげく

宇宙犬ジュピターの使い犬の正体さえ

知りやがった

だから キャッシーを始末したのに

人間では

俺が殺した事は絶対 わからないはず

だが 奴は

スピリチュアルパワーで 俺が殺した事を見抜いた！

そして

魔沙樹

隆一とバラバラに暮らしていたから

隆一は 潜在能力が ガンガン開花されつつあった

だが もう終わり

二人が 再び一つ屋根の下で暮らせば

隆一は 潜在能力も引き出せないばかりか 今のパワーがMAX七

千万なら 千万もだせまい。 フッフ

と 愛の天使は

相変わらず

光の球体に包まれて 消滅しかけた時に 夢を

しかも過去の夢を見ていたようだ。

「おかしな 夢？ でも 現実にかつてあったし どちら？」

と 愛の天使は 叫んだ。

すると 光の大玉ドッチボールが
さらに

愛の天使を包む！

すべる話やあゝ

愛の天使レイキの記憶よ すべる話やあゝ

すべる魚は

うなうな うなぎゝ

聖霊達から

集中攻撃を

受けて

さらに

ミカリエルという

聖霊達では

カリスマの一人

シルバードングヘアーで

ゴールドンアーマーやレッドウイング

この世の者には絶対いなくらいの

イケメン 聖霊の

あの 聖霊界では

もはや

あるあるネタに

なっているくらい

流行語大賞にも選ばれた事がある決めセリフ決めポーズで

大きく 息を吸いながら

魔法の台詞を唱えだした！

悪魔サタンの

信者であり

天上界を裏切り

地上を悪で満たした 愛の天使レイキに 裁きよ

巻き起これ

風 招来 雷 落雷 地震 鳴叫どどろけ 火 焼き尽

くせ

吹雪 包めブリザード 光 包め 天界からのゴールデンレインボ

ー

みんなあ

行くぞ

聖霊達は、いつせいに

ポーズを

取り始めた！

ハッピー

ラッキー

エンジョイ？

ミラクルビーム

今までに ない

あらゆる属性魔法

奇跡の 球体が

そして

この話は 終わる

続きは

物語の後半へ続く！

乞うご期待！

この小説を読まれた 全ての人々に

平和 健康 癒し 夢 希望 愛が満ちますように

ハッピー

ラッキー

エンジョイ？

ミラクルビーム！

愛の天使の夢（後書き）

愛の天使レイキが、地上を牛耳り この物語の主人公
隆一に

起こした

悪い意味の奇跡

そして

最終的には

お笑いで

終わる話は斬新だった

早く後半も書きたいなあ（笑）

第11話 隆一の悲愛（前書き）

お笑い芸人を目指す 隆一が

夢破れそうな時に サイトから

知り合った

あいらさんとの

恋愛を 描いてます

なんとなく オチが

能な展開が待ってます

わかりそうで

予想外なオチや

予測不可

第11話 隆一の悲愛

ドリームキーを探して 様々な人々の夢の中を冒険して
夢の世界から現実に戻してもらったため、再び 大地を 歩こうとし
た時

「まだ 目覚める時 では ありません 隆一
さあ 眠りなさい！」

どこから ともなく、 最初
夢の世界を旅する時の きっかけとなった魔女の声が
聞こえてきた！

隆一は、
いったん 目覚めるがまた、眠りについた！

どれくらい時間が経過しただろうか？
今までの夢で見た

愛の天使という墮天使や
ソウルバンパイアについて
魔女に聴きたかった！が
眠りに再びついた。

いつの時代？ 誰の夢？
隆一本人の 夢
ではないか！

いきなり、上空に
隆一の悲愛
という

題名が

映画のスクリーン上に出る文字のように浮かび上がった！

隆一は、恋愛に関しては貪欲だが、いつも満足のいく
出会いを経験したことはない！

本気で恋してたまされたり

はたまた妥協して

付き合いは、するが 隆一の方から願ひ下げして
女性をきずてしまうというような感じだったようだ。

時は、2011年5月初期

当時 隆一は、某お笑いグランプリの予選に
命さえかける思いで挑み

予選突破して

45組中 ベスト8に 出場できる権利を得る事が出来たら、

「これからは、私のような色物的 お笑いがブームになるよう
私 が 岡山から

お笑い界を、変革します。」

と言つつもりであったが、予選では開始前から、

「今日でオレの運命を変えてやる！」

「オレこそが新しい お笑いに必要なんだ！」

と他の出場所の前でも言っ

なおかつ自信満々だった！

自分の出番となった 時は、鬼気迫る勢いで、演じきったが、会
場は、いつも隆一がパフォーマンスをする時

以上に、少ない笑い声しか

会場に響かなかった！

それから隆一は、もうお笑い芸人やりたくないとか

オレの斬新な

お笑いが通用しないんなら、

オレは仕事も行きたくない！とか

いろんなネガティブな考えにとらわれ、 仕事も精神的疲労メインで休んだら、

翌日

職場から 「もう 君の信頼度は0だからね！」

とか言われて

それ以降

悪循環をたどることになる！

そんな中、隆一は、藁をもすぐる気持ちで某SNSサイトから地元でリア友を探そうなんちゃら

ってコミュニティーから

福山市23歳エスプレッシャンの方に

なぜだか、不思議なパワーを感じて、サイトからメッセージを送った！

「はじめまして

岡山芸人隆一です！ 美容が

好きってプロフィールに書いてありましたが オレも美容好きなんです！

男でも 女装するための 裏技や

ほくろ一つない顔 一重でも二重にできる裏技があるので、いろいろ話せそうですね」

と 福山市エスプレッシャン23歳

あいら さん

にメッセージを送った！

しばらくして、あいさんから

メッセージが来て

「メッセージありがとう。

芸人さんなんですね　いろいろ絡みましょう」

との返事が来た！

何通か、メッセージのやりとりして

「メッセージのだけでは、伝わらない事も　あるので、

都合あわせて　実際　お会いして　いろいろ語りたい」

と　あいさんの方からメッセージがあり　SNSサイトから

直接メールへ移行し　実際に会う日を決めた！

隆一は、今まで

いろんなSNSサイトでスクラマガいの人に出会ったり

いろいろだまされたりしてるし

会える寸前まで

行くが　不思議　不思議　摩訶不思議で

会える寸前で

何らかの形で会えない方々が

たくさんいたようだ！　格闘技に例えたら　3R

まで　ジャッジは、隆一が支持しているのに

なぜだか延長Rにされ　微妙な判定で

僅差の判定で負ける　格闘家のようなものだな（笑）

だから　本当に　あいさんと会えるか、　どうか半信半疑でいた

！

緑香る

五月半ば、

大型スーパーの駐車場で

待ち合わせして

あいさんと会う事になる！

「今、仕事終わりました！　急いで向かいます。

カフェ楽しみ

カラオケも　楽しみ」

と　あいらさんからメールが来たので、心はずむ喜びと

だまされず、本当に　若くて素敵な人と会えるんだという

気持ちで、隆一は、　ワクワクしていた。　それから10分後、

日も暮れかける五月の18時頃

こちらにむかって、　まるでゲームやアニメのヒロインみたいな顔

立ちと

妖精のオーラ

光のエナジーを感じる方と出会う

それが　あいらさんだ！

「はじめまして

オレは隆一と申します。　よろしく願いします。」

「こちらこそ、よろしく願います。　ではメールでも言ってた
おすすめカフェに行きましょう。」

友人の岡崎君に教えてもらった

車で　五分のこの、カレーとコーヒーの　美味しい店に
あいらさんを連れて中に入った！

シャンデリアが上からつるしてあり

近代ヨーロッパ的な椅子や内装だった！　所々、モネやピサロ

ゴッホ

ゴーギャンなどの　絵が飾ってあった！　自分が

お笑い芸人として

頑張っている事をアピールした。

あいらさんは、美容について
ちよつと難しい話をしてきている！

隆一は、所々

理解に苦しむが、あいらさんと会話が続く！

美容に興味がありながら

格闘技に興味があつたり

癒し系の音楽が好きなのに

トランスや ガガ様みたいな

アップテンポな曲が、好きだとか、

話が 弾んだ。

「隆一さんって

本当に

すごい

ギャップ」（笑） 見た目は

若いのに 考え方が またまたスピリチュアルだとか

濃いですね。」

そんな話を していると楽しい時間は、あつという間に、
過ぎた。

21時閉店だが、

18時過ぎから

21時くらいまで こんなに話が盛り上がるとは

想定外だったようだ！

「次 カラオケ行くけど あいらさん

何時頃まで

大丈夫かな？」

「何時でも 大丈夫です」

そして福山市の ぼぎい というオシャレなカフェから、

ほど近い

カラオケボックスへ行った！

隆一は1977年生まれ当時33歳

あいらさん当時23歳

まず 年齢差から

曲の趣味など一致するはずが ないと思って隆一は、開きなあって

洋楽やアニメや

ちよつと古い曲や

多彩なジャンルを歌うが

こ こんな不思議な事があって良いのかしら？

あいらさんは、隆一の歌う曲を

ことごとく知っていた！

楽しい時間とは

なんて早いのだろう カラオケ 三時間も あつという間

その日 隆一は、あいらさんを送った後

背中に翼が生えた

何者かが バックミラーに見えた

つけられてる？

と 思った途端に

shadowは、消えた

隆一は、

このshadowには

中国四国お笑い予選大会前にも

現れては 消えたことを思い出した。

嫌な予感が

隆一の脳裏を かすめる。

それからも

何回か メールの

やりとりをして

隆一は、「オレは こう見えて たまに ネガティブになることがあるよ。」

と あいらさんに伝えたら、

「落ち込んだり

くじけそうな時は

私に電話してきて

いいよ！ メールは 返事遅くなっても

必ず返すから心配しないでと 返事があり、そして 何回かメール

のやりとりして、あいらさんの方から、

「隆一さんが 幸せになるために

何が出来るだろうか？私に出来る事があつたら 何でも言って」

とメールがくる！

また、本当に困っている時は、あいらさんの方から電話してきて隆一を癒やした。

ある日

仕事終わり22時45分

仕事場敷地内にある ファミレスで

二時間でも

いいから話したいと 言って 隆一は、誘いメールを送った！

すると あいらさんは時間どうりに

すっぴんにメガネ姿で 登場した。

隆一は6月4日に

岡山で お笑い集団によるイベントがある事を、

あいらさんに言ったら、「隆一さんのためなら

もちろん見に行くよ」

と言ってチケットを買ってくれた。

またスマートフォンから

YouTubeで

感動の言葉集

素晴らしい人生訓を 隆一に見せた。

隆一は、あいらさんに

自分が 今まで書いた夢日記小説のほんの一部を、あいらさんに渡した。

ほんの一作品だけ

ファミレス内で

読ませたが、

「情景や描写がうまいね。

確かに面白い」

って 言って

小説を一つだけ読んだ。

それから毎日のように、

あいらさんにメールをする隆一

6月4日

お笑いロワイヤル？の 舞台を

あいらさんが

見に来てくれてるではないか！

福山市より岡山市まで

距離があるなか

本当にありがとう

と

隆一は

あいらさんに心の中で

感謝して

ますます

あいらさんに好意をいだくのであった！

一生懸命

隆一は、パフォーマンスした。我ながら

上出来だと思っていた そんな中、

他芸人さんのパフォーマンズや

ファッションショー 面白 動画コーナーなど

いろんなコーナーは 終わって

隆一達は、打ち上げに居酒屋 裏飯屋

に集まった

んん？

居酒屋 裏飯屋？

こんな居酒屋いやだ（笑）

お笑い仲間の誰かが ボケた

いやいや 意味違うよ 居酒屋裏飯屋だけに このメニュー表に

はない

裏メニューがあるみたいよ

はっ そうなん？

その裏メニューとは？

例えば ビールに

ビールdynamiteって 叫んだら

店員さんが ビールにアイスのをせてもってくるとか

ええっつ

それって

ビールフロートってやつ

そんな芸人ならではの会話の中

隆一は

ウィンナーコーヒー頼むぞ

なんで

だって

オレのウィンナー

かちかち！の

かつちこち

下ネタやないかい？ 隆一達は、お笑いロワイヤル？の打ち上げで盛り上がったいた

お笑いロワイヤル？の集計結果で

ラフシンクの田畑が 「隆一殿 おぬし 今日 集計結果が どのこのうというより 隆一殿が一番 盛り上げてくれどござる

君こそ ナンバーワンだ」

と 肩をポンと 叩くラフシンク田畑

その日は、集計用紙が

たくさんあり

わからずじまいだった！

次の日

自分こそが、岡山芸人ナンバーワン

中国四国お笑い予選

大会は

悪夢であり

お笑いロワイヤル？の結果で

自分が改めて

岡山芸人ナンバーワンだと

言いたいところに

ユニット コーン京極さんから

メールがあり

隆一が6組中 最下位だった！

隆一は、自分の

お笑いパフォーマンスに自信を持っていた！

前回

中国四国予選大会で 見えにくい

紙芝居パフォーマンスメインを

動きネタメインにしたのに 最下位だった！

人生は　なんて皮肉なんだろう
この日の　ために
本当に練習していたはずなのに、
なんとも言えない

絶望感の中

あいらさんに心境をメールで伝えた。

すると　あいらさんの返信に

「次の休みの時
会える？」

お笑いロワイヤル？頑張ったね。

これから　頑張るんだよ。　そのためにお祝いしたいんだ
元気だして」

あいらさんとは夢　の中の妖精らしいが
夢にしては

出来過ぎくらい優しい人ではないか？

もしや

最近見た　宇宙犬キャッシーの夢と同じく　聖霊の類かな？

6月8日晴天の日の夕方18時半くらいに某ファミレスで
待ち合わせして

中へ入る。

驚くべきことに

あいらさんの方から　これは
プレゼントね。

と　チューリップ畑の絵を

隆一にプレゼントした。

隆一は、予想外の

驚きで　しばし

開いた口がふさがらなかった！

隆一は、

会って三回目だが、早いところ 高まるドキドキした 気持ち
本当に 心奥に光る気持ちを
伝えたいと思っていた。

イチかバチか 博打的な考えだが、ここで あいらさんと

お付き合いが

出来れば、

一生の幸せを

手に入れることが出来るかもしれない。

ドリンクバーのドリンクを

あいらさんの方から 積極的に

とってきてくれたり あいらさんは、本当に この世の人かと隆

一は、疑問に思いながら、時間は

経過していく

「ねえ 隆一さん

私の車で

海行こうよ。」

そう言って

あいらさんの車に乗って

隆一は 海へ向かって行っただ！

途中 24時間営業のスーパーで

「隆一さん いつも お疲れ様

あなたのこれからの活躍と成功と

お笑いロワイヤル面白かったぞ って感謝を こめて

ケーキとか飲み物 おごるね」

「 あ ありがとう」 「そんなに遠慮がちな顔しないで

いいよ

何でも好きな物言ってね」

あいらさんの車に乗って 25分くらい走らせ
夜の海に着いた！

「ああ 涼しいし 気持ちいいね」

「本当 素敵な景色だわ」

「あいらさん！オレのために いろいろありがとう」

「いいのよ

隆一さん が笑顔に なるのが私の喜びでもあるのだから」

（何て 人間が出来た人だろう

本当に この世の人間か？ 今の自分の考え

抱きしめたい。 KOしたい B以上やりたいっつの
告白したい

でも…本当に…なんの苦労もなく

あいらさんを手に入れても

いいのだろうか？

いいや お笑い芸人として失態しまくりだから

今頃 運が

向いてきたに違いない。

いろんな考えが

隆一の頭をめぐる

その間も

お互いの好きな芸人が一致したり

お互いの好きな

パワースポットが

めっちゃ一致したり、なぜだか

不思議なオーラで包まれる。

そんな中
夜の海は、静かに音を立てる。
ザアゝ ザアゝ

何時間

話しただろうか
この雰囲気

多くの恋愛を経験している隆一には
おそらく

こう感じていたに違いない！

K1や バトルマンガで
あるあるシーンだが この試合
とったぞー

って考えが あつたに違いない！
しばらくして

あいらいさんが

「ねえ

昨日 メールで言つてた 大事な話つて何？」
ときよんとした顔で こちらを見つめた。
隆一は、 な な に このムードで
ワザと？

にぶいなあゝ
と思ひながら、

一瞬

首をかしげたが

「ゴホン」

と 咳払いをして
あいらいさんを見つめた。
視線は、なぜか

おでこ おでこから

視線は あいらさんの頭の後ろ20cm先まで
見つめるくらいの眼力を持つて

あいらさんに

こう言った！ 「オレは、あいらさんという時が 今年 誰と

いる時よりも楽しいし

自分が 自分らしくいれる。オレは長年スピリチュアルな勉強をし
ているが

あなたは

この世では

珍しく、23歳にして 若き姿に似合わぬ精神レベルの高さを 感
じ

ソウルメイトである ニヤンテッドファミリー を 上回る

居心地の良さを感じる。

だから オレと付き合ってください。」

言えた

この一言 この一言のため

今までの33歳の暗く辛い恋愛の歴史も幕を閉じる。

と 思ったら

「あら そうなの？私より 素敵な女性は山ほど いるわよ」

思っただけに渾身の一言が効いていない！

それに　なんて　こんな　そっけない返時？

引き続き　隆一は

あなたが　全て　あなたを幸せにしたい」

と心を　こめて叫んだ！

「今は　誰とも

恋をする気は　ないけど

思いは　すごく伝わった！

とりあえず　帰りながら　考えよ」

あいらさんの車で再び　自分の車が　置いてあるところへ

帰ることに

隆一としては　なんとしても

この世のものとは思えない　あいらさんを　ものにしたい

是が非でも！

色々　車の中

帰路に語った！

そして駐車場に

着いたら、隆一は、こう言った！

「オレには、ある意味　人斬りの精神が宿っている　人斬りな

らぬ　女斬り

ようは　本当に素敵な方と会うまでは、色んな女とデートを

繰り返すが　満足いかない結果になっている」

「なんのこと？」

「あいらさんがいると　女斬り隆一から

純愛なる　自分

本来の良さが現れて　過去のトラウマが

全て消える」

「私に　そんな力が？　嬉しい

でも　今日は　もう遅い　次回　会うまでには　答えを出す

今のところ80%

ポジティブだから安心しといて

次回 楽しみにね」

時計を見たら深夜

二時半

確かに

熱く語りすぎた。

翌日 あいらさんから メールが来た

隆一は、嬉しさと期待感で

ドキドキしていた！ メールを見ると

「頭痛と吐き気で ほとんど 食事ができない」
と

何回か「大丈夫？疲れが出てるし ゆっくり休んで」

とかメールした。

そして2日後 「今日 検査しに行くよ

まあ 多分大丈夫だからね」

そして 隆一は

その日 用事で

車を運転していたら、仕事は16時からだが 14時半くらいに

歩行者をわたらせるため

横断歩道で待っていたら

ガしゃーん！

と 車が追突してきた！

なぜに

このタイミング？

不安は よぎったが

なんとか

事故検証をして

その場合は、相手のミスで 修理費は、相手や自分の保険から出る事
になった！

ここで

何かが 追突という アクシデントにより それ以上に
大切な

何かが 崩壊した気がした！

数分後

嫌な予感的中！

あいらさんからメールがあり

「1ヶ月以上入院して 絶対 安静」

と メールが来た！

隆一は、車も ぶつけられ あいらさんは、入院
してもたつてもいられない気持ちで
いっぱいだった！

この時から 隆一の気持ちは

不安定になっていった！

あと一歩

あと一回

あいらさんと 元気に笑顔で会えば

100% お付き合いOKだった

そして、これから 宝の地図にも書いた 理想の恋愛が出来る
はずだった！

夢だけど

悔しい気持ちで

泣きたい

泣きたいが涙さえ出ない

千載一遇

奇跡の出会いを

追突という事故以来 吹き飛ばされた

気がした！

なぜかしら

追突事故以来 有り得ないアクシデントが 続き

あいらさんには

不安定なメールばかりしている隆一がいた！

何者かが

ドリームキーを

操作して

夢をダークファンタジーにしている

楽しい夢は

ないのか

ドリームキー

魔女？

やはり あの オレを眠りに陥らせた

あの 魔女は 黒幕か？

つきとめたい

夢の 謎を

ドリームキーは

どこだ？

なんだか

嫌なエナジーを感じる隆一

早く

この夢も

終わらせてくれ

と念じたが

夢は 終わらない。

まだ 続きがあった！

数日後

あいらさんから「福山市第八病院に入院しているから
来てほしい

ただし

今の 隆一さんからは ネガティブな波動しか 感じないから
私の 魂の残り火で あなたを 叱る
何も 持ってこなくて いいから 来て」

なんだか オチ的に 魂の残り火を

たくして

命尽きるオチを

ベタだが 予感しながら

隆一は、Paul Smith のズボンとTKの緑の服
ターコイズアクセサリー

ラブピースの香水を ぶっかけて

観葉植物を持って

あいらさんの入院している 病室に入った！

すると 病室を空けた途端

隆一が見たものは、 蛇と龍のタトゥーを入れた

サングラスでヤンキー風な金髪で

いかにもホストみたいな 男が ニヤニヤしながら
あいらさんを 石化していた

そう 前の夢にも何回か登場した

愛の天使レイキだ… 「やめろ」

やめろー」

「シャラ〜つぷ」

愛の天使レイキは、右手で

隆一に 気

邪悪な 波動エネルギーを

おくった！

隆一は

まどろむ

「 隆一よ

あいらさんの石化の 呪い は 貴様には 敗れぬ」

愛の天使レイキは

不敵な笑みを浮かべた

「隆一よ そのまま 麻痺して 貴様も石化するのだ
カーッ」

右手を振り回す

愛の天使レイキ

そこへ

この 摩訶不思議なドリームファンタジーへ 導いた

あの

魔女が 現れた！

「な なんだ

お前は

その 青い体

シルバーヘアー

お前 人間ではないな？」

愛の天使レイキは、 魔女を睨みつける

「この場合は、私に まかせて 隆一

あなたは

ドリームキーを探しなさい

もしくは 万全な体勢で いつか 私を倒しなさい 今は」
「何をする？」

愛の天使レイキは 魔女を再度 睨んだ！

魔女から 魔法の言葉が 聴かされた！

「光のクリスタルよ 隆一を

包み込め

そして

隆一を 光の夢により いまいちど 浄化を！」

隆一は、 石化が治り あいらさんも石化が治り

愛の天使レイキは、なぜか消えた！

そして

この夢の オープニングに現れた

デカイ 文字が

スクリーンいっぱい に 現れた！

隆一の悲愛

END…

そして

なぜかしら

エンドロールは、 t i m e t o s a y G o o d b y

が

流れて

登場人物が 次々

映画のように

出てくる

そして

曲が 終わったと同時に

隆一が 光のクリスタルと 共に 輝きながら

浄化と癒やしの世界へ

一時休戦

ダークファンタジー 続く

と 文字が

現れて

この夢は、終わった

と思われたが

なぜかしら

隆一と あいらさんが電話していて

あいらさんが

実は 私

元彼とやり直すことになったの…

これにより

恋愛GPには 魔物が潜んでいる

隆一よ

立ち上げ

完

完 で この夢は、終わった

切ない…

最後のシーンで

隆一が ジュピターを一人カラオケしながら

終わった ものは、 蛇と龍のタトゥーを入れた

サン格拉斯でヤンキー風な金髪で

いかにもホストみたいな 男が ニヤニヤしながら

あいらさんを 石化していた

そう 前の夢にも何回か登場した

愛の天使レイキだ… 「やめろ」

やめろー」

「シャラ〜っぷ」

愛の天使レイキは、右手で

隆一に 気

邪悪な 波動エネルギーを

おくった！

隆一は

まどろむ

「 隆一よ

あいらさんの石化の 呪い は 貴様には 敗れぬ」

愛の天使レイキは

不敵な笑みを浮かべた

「隆一よ そのまま 麻痺して 貴様も石化するのだ

カーッ」

右手を振り回す

愛の天使レイキ

そこへ

この 摩訶不思議なドリームファンタジーへ 導いた

あの

魔女が 現れた！

「な なんだ

お前は

その 青い体

シルバーヘアー

お前 人間ではないな？」

愛の天使レイキは、 魔女を睨みつける

「この場合は、私に まかせて 隆一

あなたは

ドリームキーを探しなさい

もしくは 万全な体勢で いつか 私を倒しなさい 今は」

「何をする？」

愛の天使レイキは 魔女を再度 睨んだ！

魔女から 魔法の言葉が 聴かされた！

「光のクリスタルよ 隆一を

包み込め

そして

隆一を 光の夢により いまいちど 浄化を…」

隆一は、 石化が治り あいらさんも石化が治り

愛の天使レイキは、なぜか消えた！

そして

この夢の オープニングに現れた

デカイ 文字が

スクリーンいっぱいに 現れた！

隆一の悲愛

END…

そして

なぜかしら

エンドロールは、

t i m e t o s a y G o o d b y

が

流れて

登場人物が 次々

映画のように

出てくる

そして

曲が 終わったと同時に

隆一が 光のクリスタルと 共に 輝きながら

浄化と癒やしの世界へ

一時休戦

ダークファンタジー 続く

と 文字が

現れて

この夢は、終わった

と思われたが

なぜかしら

隆一と あいらさんが電話していて

あいらさんが

実は 私

元彼とやり直すことになったの…

これにより

恋愛GPには 魔物が潜んでいる

隆一よ

立ち上げれ

完

完 で この夢は、終わった
切ない

最後のシーンで

隆一が ジュピターを一人カラオケしながら
終わった

第11話 隆一の悲愛（後書き）

お笑い芸人達との やりとりは、小説家というよりは
お笑い要素満載です

あい子さんという

素晴らしい人格者

妖精が

入院する という

シーンは、切ないでは 終わらないレベルだと思います。

エンドロールが

これでもか

これでもかってところが 斬新だよ

第12話光の中で（前書き）

隆一が 前話で

魔女により光輝く

クリスタルに包まれて

シリアスな夢から

コミカルな夢

誰の夢かは、わからないが 入り込み

クリスタルの中で見る夢は、浄化をもたらす。

本当に笑えますから お笑いブームや

コントみたいな夢で笑ってください

第12話光の中で

魔女により、光のクリスタルに

包まれた隆一は、奇妙なショートショートな

夢を 小刻みに見る事になった。

誰の夢だ…

バスケ部の夢？

「コーチ！次の試合に俺を出させてば！」

「球太郎よ！ 次の試合では リバウンドを決めて 最後には
ゴールを かつこよく決めなさい！」

「あざーす！」

赤い髪の 短髪の濃い顔 190cmの球太郎は、次の試合を
心待ちにしていた

それを聴いていた

球太郎の中学時代の不良仲間達が

「球太郎よ 今度の試合 かつこよくシュートするんだぜ！頑張れ」
と球太郎を応援する。

「シュートを入れて試合を盛り上げて

夏子さんを 振り向かせるぜ！

見ていてくれ 夏子さん」

球太郎の片思いの相手

バスケ部のマネージャー夏子に

かつこいいところを

試合で 見せたい！

なる程

男子高校生の心理をうまいこと
突いてる

そして 試合の日

カコーン カコーン！

球は 球だが

あきらかに

バスケの球とは

違う音がする

カコーン

カコーン

「おい 球太郎

ワシら 老人 相手に 本気になるでない

単なる

球遊びじゃけんなあ」

老人？

球遊び？

んん

バスケじゃないの？

「試合は 試合でも ゲートボールの試合じゃないってえ（泣）」
なんと 球太郎は、バスケットじゃなくて
ゲートボールの試合で ゴールを 決めまくっていた。
なんてこった！

しばらくして画面が 切り替わる！

んん？先生と子供達？

何 話してるんだ？

「よし！ 修学旅行の今日の宿泊先

京都嵯峨野ホテルに 到着した。 みんなのバッグを調べにいくぞ
！」

いかにも体育会系の45歳くらいの先生が 抜き打ちで

生徒達のバッグの中身を調べていくらしい

「抜き打ちかよ」

僕達 変なもん なんも 持ってきてないよ」

先生は 一人 一人 バッグを 覗いていった

しかし 先生の心の叫びが

隆一には 聞こえた。（むひひひひ

生徒の誰かが思春期だけにAVDVDを

持ってきてるやつが いるに違いない！

あくまで没収って形にして 後からワシが一人で 今晚の おかず

にしてやるわい むひひひひ）

先生は、頭の中エロい妄想で

いっぱい

生徒達のバッグを調べて行った。

んん？

「高橋君　君のバッグ　やたらめったら　デカくないんか？」

「いや　いや　あ　それほど　でも」

高橋は、

バッグの前で

体を　呈して

先生に　バッグを見せないように

なんか　ごまかしているではないか？

「先生　こいつのバッグの中身

絶対　怪しい！」

チビで坊主頭の安原君が　高橋君のバッグを　指差し呼称する！

高橋君のバッグ　よし！

高橋君は　自分で自分のバッグに向かって　高橋君のバッグよし！

と

指差し呼称するという

ベタなボケをかます！

「良いわけないやん　余計　怪しいわい

おおりやああああ」

先生は

無理やり

高橋君を

どかして　奇妙にデカイバッグを

こじあげた

すると　すると

すると
中身は、
中身は、
中身は

カラッポだった

「カラッポやないかい　驚かせやがって　てっきり　エロいの
が　いっぱ

いや　おっぱい

いや　なんでもない　怪しい何かを持ってきてるんかと思った
やんか？」

「バッグは　デカいんですけど

中身が　入ってないんですよ！

これって　先生の頭の中と一緒だね？

ガタイ良くて

頭は　カラッポやないかい」

高橋君は　先生を指差ししながら

ふざけていた！

「やかましいわい

おかしな　たとえ

ぜんぜん　うまいこと言えてないわい！」

先生は、心奥を探られた　ため

つい　むきになって　口調が　激しくなったら　安原君がいきな

り、「うまいこと言う　まいつちゃうね　エロがっば！」

って　奇妙な踊りを始めた。

そうして

爆笑モードに

包まれて

画面が

切り替わる

いったい なんなんだ さっきから

ショートショートな 奇妙な夢ばかり

光のクリスタルの癒やしなのか はたまた 癒やしならぬ

嫌み なのか

どっち？

ドッチボール

キャッチボール

で 次の夢へ

ありや なんだ

なんだ なんなんだ

修学旅行パート？ってタイトルが

画面いっぱい

現れた

なんでやねん！

またかよ

まさに

天井って言うのか

かぶせて言うのか 修学旅行パート？が 始まった！

「実は、先生に内緒で 秘密のバッグ持ってきてるよ」

メガネ坊主の健一は チビ坊主の 安原君と

デブ坊主の 平井君に どや顔で

自分のバッグを指差した。

「でっけ」

「「なんか 秘密の宴会道具とか

あるんじゃないの？」

安原君達は、興味深々に

健一に問いかける！

「ふふふ！」

健一は

またまた どや顔で笑う！
しばらくたつて

さっきの

ガタイの良い先生が 来た！

「おい バッグチェック

一人 忘れてたわ。 健一君

バッグの中身

見せてくれ」

健一が しぶしぶ バッグをあけようとする

すると先生がバッグをチェックする前に また、中身が

カラッポやないかい？って

オチで 先生を

からかう気かな？

先生は

バッグを開けるのを 躊躇して

健一に問いかける！ 「じ 実は

先生に 内緒で

僕：

A V D V D

めっちゃ 持参してきました。

先生 ごめんなさい。」

先生は、健一を叱るところか

表情やオーラから

いかにも

でかした〜って雰囲気で

バッグのチャックを 外したら

んん？

んん？

ウソやろ？

奇妙な 臭いが
あたりを 立ち込める
うわっ

先生は、
バッグから
いきなり
バッグの中身の？から
吹っ飛ばされた

バカな
ウソやろ？

なんと エロいDVDの パッケージを見ながら
よぼよぼの
じいさんが
バッグの中で
一人 エッチしてるじゃないかっつ
奇妙な 臭いの
正体は…

あわわわ
これ以上
言えば 下ネタやんか！
先生や生徒や じいさんが
びっくりしてるとこで
画面が 切り替わる！
タイトルに
こだわり寿司親分

と 表示が出た！

んん？

あれは

グルメポーター？

「はいはい

やってまいりました。グルメポーターの魚住隆です！

今日は、石井さんのオススメということで

こだわり寿司親分を 取材しに来ました」

魚住隆 35歳

いかにも

何でも器用にこなす 社会人という雰囲気と 身だしなみと

口調の方！

石井さんは、50過ぎの 髪が薄くなって貧乏たらしい

シミだらけの服

しかも

わざとか 天然か

知らんが

靴を右足に

草履を左足に履いている！

「あのー 石井さん その格好

とても個性的なんですが

何かしら ウケを狙ってませんか？」

「……」

「……」

「……」

しばらく

沈黙が 続いた後

「これが ニューファッションじゃい」

石井さんは、どや顔で テレビカメラを睨みつける！

呆れた

グルメレポーターは、すぐ話題を あえて そらし本題に戻した。
さすがに 彼は

空気を読む力には

長けてるようだ！

「では、本題に戻します。 あの いかにも って寿司屋
親分に 入りましょう石井さん」
と

石井さんの背中を押して

外観は、普通の寿司屋である

寿司屋親分に

レポーターと石井さんは、お邪魔した。
すると

「へい！ らっしやい！」

角刈りで

頬に十字傷があり

ごつい体の

大きな男が

包丁を

こちらに向けて

出迎えてきた！

「よう！ 親分！

今日も いつもの握ってくれ」

平気で

石井さんは、親分？って方に
話しかける

親分の威圧的雰囲気
にびつくりして、

レポーターは、震えが止まらない。
萎縮しているようだ！

しかし

何かしら 注文しないと やばい

番組も進行しなければ

親分に 何か言われそう。

「おめえさん

誰の許可が あって あっしの店に取材に 来たんなら！」

角刈りの寿司屋の親分は、

睨みをきかせて

ドスが きいた声で レポーターに

話しかける

また

寄りによつて

なんなんだ

この親分の質問？

マジ

一番 今 言われたくない 質問ランキングワースト3に
入る質問やないか（汗）

思わず

「私 取材 に き て… まちて

このみちえ で

よいちい おちゅちを 注文しに来ました！ 要は

この店を全国に広めたいんです！」

なんだか 萎縮して 前半 何言ってるのか わからないから

マジで やばい

親分に

怒鳴られる

と思つたら
やっぱり

親分は、袖をまくり上げて

「てめえ

なかなか

おもしれえなあ

で ご注文は 何にいたしやすか？

特に 名物握り寿司なんか いかほどでしょうか？」

親分が 袖をまくり上げてきた時は

なんか されると

思つたが

急に 職人肌口調から 丁寧語に なつたから

その すごいギャップ

に 笑わずにいられなくなつて

思わず

お茶を飲んでいた

リポーターが

ぷぷうつつ

お茶を 親分に向かつて

吹き出してもうた。

これは、絶対

今やつてはならない ワースト2だ

やばいと

リポーターは、

半分 お金差し上げますから

命だけは

お助けを 的な

引きつった表情になった！

「てめえ やっぱり おもしれえなあ。

とりあえず

裏へ 来いよ！

名物握りを

特別サービスで

振る舞ってやる

無料だぜ
」

石井さんに 適当な寿司盛りを

出して

手招きで

リポーターを

裏へ

裏へ

招いている！

リポーターは、絶対 握り寿司無料で

裏へ行かされる

なんて

めっちゃ怖い

なんか される

助けてくれよ

という 思いで、

親分に招かれるままに

裏へ 行く！

「では あっしのと
とっておきの

名物握り寿司を
「くらないよ！」

リポーターの頭の中には
不安と安心が
頭をよぎる

だって

名物握りだけに

握り すなわち

げんこつ一発で

すむんだ

ひどいことは

されずに すむんだ

と想像していたら…

「いくぞ！」

くらえ おりゃああ

名物握りいっちよう「

いきなり

親分は、リポーターに

お尻を向けて

すげー でかい

おならを

ぶうっつ

と

かまして…すかさず手で掴んで、リポーターに臭いを嗅がせた！
「これが あっしの名物握りいっちようです 名付けて

握りだけに

あがり〜

にぎりっぺ いっちょう

今日も 遠方より

お越しくださり

ありがとうございした」

「くっせええ〜」

リポーターは、

安堵感と

笑いと

臭さで

思わず 涙した。

そして

画面には

完

と

表示された！

「隆…

シリアスな夢ばかり 旅して疲れていたようだね

表情に覇気がないから

クリスタルの中で

他人の 楽しい夢の中に入り

癒されたはず？

冒険は

まだまだ続きます。 ドリームキーを探しましょう。

また、夢で 私を見かけたなら

迷わず

敵だと思って倒してほしい。

また 会おう 隆一

青い全身にシルバーヘアー レオタード姿の

魔女が

隆一に

一瞬

現れて

消えた！

誰の夢の中へ行つてたのかは、隆一は、何も知らないが

本当に 癒された

覇気が 戻っている！隆一の

夢から夢へと旅する 物語は、まだまだ続く

ドリームキーを

探し

全ての謎を解け

物語の結末は、誰も知らないが

過酷な夢世界が

待ち受けているのは 間違いない

続く

第12話光の中で（後書き）

ショートショート ベリーショートな夢世界ですが、

今までのシリアスな ダークファンタジーな世界観には、ない コ
メディタッチな

夢世界が

広がります！

なんだか

お笑いを文字で表すのも

面白いなあと思いました！

スポッ的な話ですが

息もつかせぬ

ファンタジーから

このようなコメディタッチな夢世界も

ありなんではと

作者は感じてます。

第十三話 飴と時空移動（前書き）

2005年夏に この物語の主人公が
実際見た夢日記です。 当時

主人公は、映画みたいな夢

タイムスリップを繰り返していく

この夢について

大変

衝撃を 受けて 家族や友人に イキイキと話していたようだ。

当然

彼の親友

健太郎にも、夢日記として

見せていた

2005年夏

第十三話 飴と時空移動

隆一は、2005年の夏（某占い師の占星術によると）大殺界の停止という、大変やばい運氣になり、四面楚歌あるいは、八方塞がりな状況に追いやられ非常に苦しい毎日を過ごしていた！

ある夏の日

空が夕刻の16時なのに

異様に暗くなり、雨がザァーって降ってきた！

「こりゃあ 雷様が落ちるんじゃないか？」

というくらい大きな雷が鳴り続けた！

それから、数分後 隆一の家

とてつもなく目映い光と共に

ゴロゴロゴーン

と

音がして何かが家に入って来たような感覚があった。

自分の部屋の二階の窓を開けると

びっくり！

「いやあ」

失礼 失礼 こんにちは！

私は あなたの知らない世界から来た男です。」

なんと窓の外にシルクハットの帽子を

かぶって蒼い目をして 黒マントを装備した 怪しい 髭づらの

おじさんが

立っていた！

「確かに、怪しい人ですね。

まあ しかし どうぞ 窓からでも

靴脱いで 僕の部屋へお入り下さい。」

と言って

変な男の手を引つ張りながら

中の部屋へ入れたら 男は、ハの字形の髭を触りながら、こう言
った。

「私は、現代と未来を行き来出来る

飴玉を開発した

エジソン13世なり」

隆一は、ぷぷっ

と 半信半疑な気持ちで 吹き出しながら こう言った！

「現代と未来を行き来出来るなんて

まるで 映画バックしておやじひいたー

みたいな話しやなあ。」

「まあ そういうことだ！私の持っている 飴玉の袋の中から、一
つの飴を舐めると、一つの飴につき、過去にも未来にも思ったとう
りの世界へ行けるぞ。」

「すっげえ

エジソン13世さん 僕と友達になってよ。そして 様々な時代を
旅しようよ。」 「あ っ この飴には、もう一つの効果が

あるが、飴を舐めるのではなく、噛んでしまうと自分の想像した年
齢で一日中

過ごせるんだよ」

「へえ」

さっそく タイムトラベルさせてよ！

13世さん！」

「あなただけに、

飴を舐めさせタイムトラベルさせるわけにはいかない！あなたが飴

を舐めて

行きたいと言った時代へ私も同行できるように
今から呪文を唱えるぞ！

アメアメフレンチタイムスコープ！」

おじさんは

変な呪文を唱えたが、隆一は、身体に特に何の変化も見られたよう
には思えなかった。

隆一は、手始めに、 飴を舐めて

1980年代の日本へタイムトラベルした。 「おおーっ すごい

あれは、竹の子族じゃないか！」

と隆一は、叫んだ。 なんと隆一が

1980年代と心に念じながら、 飴を舐めてタイムスリップした所
は

1986年 原宿だった。

個性的なファッションをした

ロックンロール風な人々が表参道を踊りまくっていた！

その後、原宿の玩具屋へ行ったら、なめ猫グッズ

やガンダムのプラモ キン消し、まで売られている。

「うわ 懐かしいなあ」

そこでゲームセンターへ行ったら、

スペースインベーダーに熱中している

学生や大人達が

たくさんいた！

80年代を楽しみながら、歩いていると エジソン13世が、
坊ちゃん そろそろ時間だよ」

また飴 使って違う時代へ行こう。」

「うん」

今度は、1995年の5月の自分の家へ行った

風が気持ちいい

若葉のにおいが、当時の思い出が

隆一の脳裏に浮かんできた！

何と まだ

高校生の頃の隆一が、玄関から出て来て、ブレザー姿で慌てながら、自転車に乗って

学校へ行くこうとしているみたいだ。

「おい

高校生の頃の僕」 って叫んでも、全く こちらに気づいてくれない。

「な なんて昔の僕は、全然 こっちに気づかないの？」

「この飴は、君の過去に出会った人に接触する事とか不可能なんだだから 君の母や君の友達は、君の姿も見えてないよ。」

「なーんだ つまんねー」

「じゃあ、僕の事 全然 知らない時代にタイムスリップしちゃえ」

隆一は、適当に飴を軽はずみで、2、3個 いっぺんに舐めてしまった！

すると

あたりは、鎧や兜 をまとった戦国武将が たくさんいるではないか？

一人の武将が隆一達の方を指差して、こう言った。

「ここは、川中島の戦いじゃあぁ

この武田信玄、

あの上杉謙信の首を とってみせる」

ら 怪しい格好しておるのう。

とっ捕まえてやるぜ！」

んん？その前に お主

武田信玄は、鬼のような形相で、脇差しを抜いてきた！

「逃げるゝ おじさん」

と言って

隆一とエジソン13世は、川沿いの小道を、無我夢中で逃げていたが

武田信玄の兵士は、馬にまで跨がって追いかけてきた！

「逃げ足の速い二人組みめ

この刀で死ねゝ」

隆一達は、刀や槍で 何度も刺されそうになった！

「僕

な なんて

ついてないの！

この時代で死ぬの？ ねえ おじさんってば」

「ここで、飴を舐めるぞ

どこの時代へ行けるか 分からぬが 速く舐めるぞ」

隆一と おじさんは

サムライから逃げながら、飴を取り出し、飴を舐めたら

危機一髪！

刺し殺されず、他の時代へタイムスリップ出来たようだ。

「ふうゝ なんとか助かったか。」

「ここは、日本じゃなさそうだし、

なんか殺風景だし、爆発音や煙で

前が あまり見えんね。」

隆一は、この時代の住人らしき人かなり ボロボロシャツ着た 人

がいたので

話しかけたら、

「ここは、イランイラク戦争の真っ最中だよ

これ以上

俺に近づくな

近づくと このナイフで刺すぞ」

男は、ポケットから ナイフを取り出した！

そうこうしている間に 遠くに

10名 くらいの人数で

バカでかい ライフルを持った

兵隊が こちらへ来て、歩を進めている隆一らに

向かって「stop!!」

と叫んできた！

あっという間に、隆一と さっきの男と

エジソン13世は、四方八方

兵隊にライフルを

つきつけられながら、囲まれた！

隆一は、突拍子もない

兵隊の行動に半分

俺は、死ぬのか？ という

イメージさえ頭によぎった！

「You must
die」

って兵隊のボスらしき男が

ライフルの引き金を 引いたんで

「もう ダメだあ」

と 隆一は叫んだ。

「しっかりしろ

青年よ！！ポケットの飴を舐めろ。」

とエジソン13世は、激を飛ばしてくれたんで

隆一は、素早く

飴を舐め エジソン13世も同じようにした！

心の中で

2005年にもどるようにイメージしたが、タイムトラベルミスが
起こった！

2014年と画面に 表示された！

そう隆一達は、2014年の地球の未来に来てしまった！

2014年は、見渡す限り

地震の跡形が あったり

戦争で 焼け野原に なって

もの凄い空気が悪い世界だった

「もしか 今 2005年 だけど 2014年は 放射能かな
にかが 漏れる ヤバい時代に なるのだろうか？」

エジソン13世と隆一は、荒廃した どの都市だか

知らないが

歩いていたら

「おい！お前ら

金出しな！！」

と龍のタトゥーが肩に刻まれている

強面の二人が

隆一達を脅かしてきた！

その瞬間

上空から

5 m

もある怪鳥ガルーダみたいな鳥が

二人の強面を

鷲掴みにして

上空高く

飛んで行った！

その後

西の空を見ると、ドラゴンが上空を飛んでいるではないか？

「2014年は

化け物が出る世界になったんかい？」

つて隆一は、思わず ツツコミを入れた！

エジソン13世は、「ここにいても

危険だ！ とりあえず2030年ロシアへ飴を舐めてタイムスリップして見ようか。」

と言った！

一瞬で時空が歪んで 2030年ロシアへ到着した！
な なんと

今度は、戦車や手榴弾が 飛び交う

最も 怖い場所へ

タイムスリップしたようだ。

あまりの運の悪さに、隆一達は、泣けてきた！

「なんで 変な怖い所ばかりに

タイムスリップするんだろう」

ライフルを持った

兵士や戦車が隆一達に気づいて

近付いてくる

隆一は、オロオロしながら

手に汗握った！

一人の兵士が

手榴弾を隆一に

投げつけてきた。

「もうダメだ！」

と思った瞬間に

エジソン13世が猛スピードで 隆一の前に 走ってきて、隆一の身代わりになって 手榴弾を受けた！

そして彼は、今にも息を引き取りそうな程、 弱々しい口調でこう言った！

「君と 初めて 私が 出会ったのは

あの夏の夕立の日だったね お前は、大殺界で苦しんでいた！

お前を助けてやりたくて

お前に 少しでも

人生の夢物語を見せてやりたくて

私は、お前のために 不思議な飴を持って この時代に來たんだよ。

しかし 君には何も出来なかった 私を…許してくれ」

エジソン13世は、静かに息を引き取った！

すると

平井ゲンの

まぶたを閉じて

というBGMが流れてきた！

するとミラクルが、 エジソン13世は、再び息を吹き返して こ

う言った「いい曲だ 幻聴でもないみたいだ。」

私は もう死ぬ。

このハンカチを私だと 思って

持っていてくれ。

何かの 時に 役に立つはず！

君は

2014年にワープした時から

とてつもない

魔物につけられている
気を　　つ　　け　　る
「
ガク…

彼は息を引き取るかと思ったら
姿が消えた！

彼の飴の袋も
空になっている

隆一は、残り2つしか残ってない
飴を舐めて

2005年の現代へ帰れた！
しかし、エジソン13世が
いなくなったことで、隆一は　寂しさと　虚しさで　心が
引きちぎれそうだ！

2005年現代へ帰れたのは、いいが、なんと隆一の車ごと　鳥取
砂丘にワープしているではないか！
黄色く果てしなく続く砂の道を超えて
疲れた体に

気を与えてくれるかのように
下では、日本海の荒波が
しぶきを立てていた！

この時代に戻れた事に感謝しながら、考え事をしていた。

（エジソン13世

死ぬ前に　言っていた　化け物って　なんなんだろう？）

天気が良いので、

浦富海岸の遊覧船に乗って

眼鏡岩や　鎧岩など　美しい自然の造りに目をやっているうちに、

エジソン13世が死んだ悲しみら徐々に立ち直りつつあった！

浸食された岩と青い海は

とても素敵である！ その後、日も暮れてきたので
鳥取から津山へ

向かって帰っていると、車のバックミラーに

な　なんと　最初に隆一が登山で会った

青白い顔に

透け透けの白いドレス

濃い化粧

をして　足がない魔女が、隆一の車を

追っかけてきているではないか！

その魔女は　他の夢で見た時と違い

凄い形相で

牙を剥き出しにして　長い爪を　ガシッと

車に

何回も　ぶつけてくる！

間違いない。

魔女は、隆一を

この夢の世界で

化け物という壁になり

永遠の眠りにつかせるつもりだ！

「ドリームキー……　貴様には　探せない」　隆一の耳に　魔女の

テレパシーが聞こえた！

しかし

「さてよ

この時代には、ドリームキーが　あるのか？だから魔女は、
僕をこの夢で　殺そうと　追いかけてくるのか？」

隆一は、車を

某ショッピングモールに停めて
走って

人混みの中へ逃げる。

人混みの中で人々は、つけてくる

青白い姿の魔女に気づいても

良いのだが、誰一人 気づかない！

魔女も

こちらを ずっとつけてくる！

牙を剥き出しにして 人々には

魔女の姿は、見えないらしい。

隆一は、エジソン13世が 言った事を思い出した！

（飴玉を 舐めるのではなく噛むと

自分の想像した年齢で1日 過ごせるのだ）

隆一は、魔女に向かって「この飴 かんだから 僕を

捕まえて みなよ！ 疲れてるんだろ？」

そう言つて 隆一は 最後の飴を魔女に

投げた！

これは、隆一が考えた 賭け

だった。

もし 魔女が 隆一の飴を舐めなかったら そのまま 飴の魔力を

使うことなく

スルーされる

また 隆一が 飴を舐めて 他時代へ

行つてもいいが

その場は

魔女から逃げても

違う時代で生き残れるかは わからない！

隆一は 賭けに勝つ 勝たねばならぬという思いを込めて

魔女に 飴を投げた

魔女が飴を舐めてしまわず

噛まないと

魔法は、使えない 絶対 条件しかない その可能性は、わ
ずかだが

魔女は、なんと飴をキャッチし
噛みだした

チェックメイト！

「赤ちゃんになれ 魔女よ」

魔女は みるみる

小さくなり

赤ちゃんに なっていくではないか！

魔女を殺そうと思えば

殺せた

そして

今まで見てきた

摩訶不思議な夢を

今

魔女を仕留めれば

終わらせることが出来るだろう

しかし、

隆一は

なぜかしら

赤ちゃんに なってしまった 魔女に

なぜか 親近感と

可愛さを感じ

魔女を、産婦人科に届け、無理やり

引き取ってもらい

今まで

起こった 摩訶不思議な体験を 家族や友人に 話した！
信じてくれる人もいれば
信じてくれない人々もいるもんだな！

ある夜

散歩を していたら 怪しい影が
隆一に ついてくる。曲がり角を
急いで曲がり走った！

しかし

まだ怪しい影は、近づいてくる
後ろを 振り向いたら

な なんと あの魔女が

復活していて

「ドリームキーは、探せないよ」

と言い

目から光線を出してきた！

隆一は、とっさによけた！

目の前の自動販売機は、石へと なった！

隆一は、追ってくる 魔女から逃げる

しかし再び 光線が飛んできた！

隆一は、

魔女を やはり仕留めるべきだったと後悔していた！

隆一は、藁をもつかむ気持ちで

エジソン13世から もらった ハンカチを投げたら、光線は、跳
ね返り

魔女は、石化した！

隆一の気持ちとしては 今度こそ

この石化した

魔女を蹴り飛ばし

粉々に

砕きたい！

だが 魔女を倒しても ドリームキーを探さないと

結局 夢物語から脱出できないだろう。

もしかしたら

ドリームキーの謎を知るキーパーソンが 魔女かもしれない

現に

いつぞやの

夢では

助けられたし

魔女を

そのまま放置して

家へ帰った！

それから

数ヶ月後

木枯らしの吹きすさぶ 深い秋になっていた！

その日は、特に

風の強い日だった。

風と共に 家の窓ガラスが

カタカタ鳴った！

猫かな？

何かが ガラスを

すり抜けて

部屋へ入ってきた！ なんと ボロボロのシャツに 青い顔 シル

クハット 長い牙 赤いマント の 化け物が 入ってきた！

「うわーっ これって

夢か 現実か、

どっち？

ドッチボール」

と隆一は、叫び

ドッチボールならぬ 野球ボールを化け物に向かって投げた！

バキ

シュー シュー

化け物の体から

煙が出る

「う う う 我ら ソウルバンパイヤは、

ソウルバンパイヤの長 健太郎様から

貴様を 生け捕りにせよとの 命令だったのだが ば 万

事休す…か！」

と 奇妙な映画のバンパイヤみたいな化け物が つぶやいている瞬間

いつも使っている

ドライヤーが

エジソン13世

そっくりの人形に

なっているではないか！

そうこうしているうちに

化け物は、飛び上がり 隆一を捕まえようと襲いかかる

刹那

隆一は エジソン13世そっくりの

人形を

投げつけたら

ソウルバンパイヤは、砕け散った！

こうして一件落着！

ただし

この夢では、ドリームキーは 手に入れられず

ソウルバンパイヤの長 健太郎？

もしかしたら

高校時代の親友

健太郎が

ソウルバンパイアの長か！

まさか

いつぞやの夢で白竜王に

才能を認められ

健太郎が

ソウルバンパイアの新しい長に なる夢は 見たが

まさか、 本当に？ 魔女だけでなく

ソウルバンパイアまで 登場してきた

魔女は 本来は敵であり この 夢の中で

倒したら

ドリームキーが

もしかしたらゲットできたのかもしれない！

だが、

ソウルバンパイアは？ なんだかんだ言っ

魔女は ソウルバンパイアから

隆一を助けたいから 襲うふりした！

まさか

謎が謎を呼ぶ夢物語 まだまだ続く

第十三話 飴と時空移動（後書き）

夢日記として2005年に書いた

短編集では あるが 現代では、一本の壮大なファンタジー超大作なので、

決して

2005年の夢で 魔女を倒して

はい 夢 終わり

だから

めでたし めでたし では 終われないだろう。

魔女を 敵に倒して終わりなら

この 壮大なファンタジー超大作が短編で終了してしまう！
だから

まだ 謎を残す感じに終わらせた！

従って

この話しでは

魔女は 倒されてない なぜに 倒すチャンスがありながら

倒されてないかが 今後の物語の鍵を握るでしょう。

親友健太郎が

ソウルバンパイアという 魂を吸い取り いくらかの魔力を使う

バンパイア種族の長に なるくだりが 気になる！ まだ 健太郎

が ソウルバンパイア王かどうかは、わからない しかし 親友

だったのに

なぜに 隆一を生け捕りにするのか？

謎が謎を呼び込む

乞う御期待！

第十四話　メルヘンの館へようこそ（前書き）

どこかの観光旅行に来ているつもりが
ヘンデルとグレーテルみたいな感じで

不思議な館へ

いざなわれるという　話！　この物語では
が鍵になってるのかな？

緑色髪の　おじさん

漫画化や映画化したら

なんだか　メルヘンチックで

とても面白い話になるでしょう

第十四話　メルヘンの館へようこそ

隆一は、どこかの観光旅行に来ているみたいだが、夢の中だし覚えていない！

隆一は、一人　勇み足で雄大な美しい湖のような溪流を進んで行った！

進めば　進む程　歩道の幅が　狭くなっていき　溪流の幅が
広くなっている。

ザアゝ　　ザアゝ

溪流の音も大きくなってきた。

隆一は、後ろに一緒にツアーに参加している観光客が着いて来ているのかな？

と思い、後ろを振り返った！

すると　びっくり

振り返れば、全長3mは　あろうかというくらいの竜が

水の中から出てきて

口を大きく開けて

隆一を　呑み込んだ。

隆一は、一瞬　びっくりして気を失っていたが
目を開けると

深い緑に包まれた森が広がり小鳥のさえずりと　小川のせせらぎ
が聞こえてきた！　歩けど　歩けど

同じ景色を

ぐるぐる回っているようにしか感じられない！

「なぜ　景色が変わらんのだよゝ

オレは、迷いの森に来たかも」

と 大きな声で独り言を言った！

すると、突然 一匹の蝶が 隆一の目の前に飛んできた！

そして、蝶は、まるで こっちへ来いと 言ってるように
ゆっくり ゆっくりと西の方へ 森の奥の方へ飛んでいる。

その蝶の不思議な動きに つられて隆一は、蝶の跡をつけた！

少し歩いていると (メルヘンの館右へ)と看板が あった

！

隆一は、興味本位で 館の方へ向かったら、ツタの葉に絡まった古
ぼけた

大きな館にたどり着いた。

その時

不思議な事が起こった！

隆一の目の前を飛んでいた蝶が 赤 黄 緑 の 光の粉
になった！

あまりに 眩しいんで一瞬 目を閉じた！

そして再び目を開けると そこには 緑色のロングヘアに緑色のス
ーツ姿の細身の 50歳くらいの
おじさんが立っていた！

「ようこそ！

メルヘンの館へ

あなたは裏の世界から 来たみたいですね、もし生きて
元の世界へ戻りたければ この館へ入りなさい」と言って

男は 不適な笑みを浮かべた！

隆一は、恐る恐る館へ入った！

入るや否や

「では、ごきげんよう」

と男は 館の外から鍵をかけてきた！

「な なんなんだ

あの

おっさんは？

オレ一人で この館から元の世界へ
戻れる場所を探してやるさ！」

と隆一は、唇を噛み締め強気な発言をした！

館の中は 薄暗くて、前が よく 見えない！

木造りの廊下の通路を少し進んでいくと 不気味な絵が展示して
あった！

絵の中の人物画や風景が 動いているし、 一つ リアルな鬼の絵
が

隆一の動く方に目が 動いてくる。

たてえようのない

恐怖が隆一の背筋を震わせる！

さらに数歩 進んで行ったら 展示している赤い顔と 三本の角と
鋭い牙を持つ

悪魔の絵が

アロゝ アハゝ と 言って 隆一の方に向かって絵から

手が 伸びてきて

隆一は、絵の中へ

引きずり込まれそうになった。

隆一は、心臓が止まるかと思うくらい

びっくりして、絵の中から出てくる手をふりほどき、その部屋から
即座に出た！

さらに館を進んでいくと

古ぼけた時計を発見。

チククタックチククタック

なんか 耳元で 頭が 割れそうな程
大きな時計の針が動き 音が鳴った！

10秒後、音は止み 明るく灯されていた シャンデリアが急に暗くなったと思うと

古時計が静かにメロディーを刻む。

メロディーが耳元で 異常に大きく聞こえだし、
不気味なので先を急いだ！

「ズドーン」

次の部屋へ 行ったら いきなり 金網が落ちてきた！

押しても引いても びくもしないから、 「うわああ」 出せつてば、 オレはなんで こんな金網に閉じ込められないといけないの？」

と大声で叫んだ。

すると どこからともなく 薄気味悪い笑い声が 聞こえてきた！

「はーっはっは お前は大殺界中だから 不思議な体験ばかりしてるようだなあ！ まあ 出してやるが もう一つプレゼントしてやるよ」

そう言っと 金網が 天井に消えていったら 今度は、真上から大きな 水入りバケツが 落ちてきて

隆一は、ずぶ濡れになった！

へーくしゅん はつくよん

隆一は、くしゃみを連発する！

次の部屋へ行こうとドアに手を伸ばしたら、

ドアに 目や口が 急に出てきて

「おい この先も 気いつける

ドジ男よ！」

とドアが急に喋り出した。

そして そのドアを開けると、

速攻で 槍が 隆一に 向かって
飛んできた！

隆一は、運良く
体を反らせて
かわした！

「ひい い 危なかつたわあ」

と言つて緊張感が覚めないままの状態で今度は、上から巨大蛇が
大口を開いて隆一に 噛みつくこうとしていた！

これも噛みつかれる寸前に体をひねり蛇の攻撃をかわした！

しかし 間髪入れずに 床が
ぬけて

隆一は、一気に地下へ落とされた！

下の階には 不気味な顔

まるで 死人のような写真が 壁に貼られている！

なんか今日は、キツネに つつかれたみたいに不運ばかり続くんで、

隆一は、

もう何を見ても驚かなくなっていた！

逆に 誰かが イタズラをしているのかな？

と隆一は妙な気を感じた！

よし！ そんなら

そいつを見つけ次第 とつちめてやろうと隆一は、怒りに燃えて
きた！

隆一は、回廊を進んでいたら

なんと入り口にいた 緑色髪の50歳ぐらいの おじさんがいた！

「青年よ！ ここは 私について 来てください。

あなたは白天童子という 魔界の使いに狙われています。私が 奴

から あなたを 守ります。」

とマジな顔して

男は 隆一を案内してくれた！

途中で首なし女や

巨大スライムが襲ってきたが、 おじさんの放った呪文により それら

モンスターは 即 消滅していった！

さらに 奥の扉を開けたら 大量の 水が

押し寄せてきたが、 男の呪文により

水は消えた！

「あと少しでゴールだよ！もう 一踏ん張り 頑張りましょう。」

と おじさんは、目を大きく開いて言った！

「大広間を抜けると元の世界へ戻れる小部屋がありますので 私が
ご案内しますしあなたを 白天童子から お守りします。」

しばらく歩いて大広間に 入った瞬間

なんと飾り物の藁人形が 急に 動き出した！

藁人形が 踊り出したら

おじさんまで 人形と同じように そして表情まで

藁人形みたいに

エロ目で

ニタつきながら、

踊っている

さらに 藁人形が、バツク転したら

おじさんもバツク転する

つもりが おじさん

もともと バック転できないらしく

後ろの壁にバック転する時、

頭から落ちて ドガンと 体を おもいきりぶつけてしまい

おじさんは、失神してしまった！

「しっかりして！」

と叫んでも おじさんの目は、まるで 鳴門の渦潮のように
クルクル回り

頭からはアニメみたいに たくさんの マークが出ていて
返事も できないようだ！

隆一は、怖くなって おじさんの言ってた 紫の小部屋に 駆け抜
けて

行つてると、

「まてい！！！」

と 小部屋からの仏壇の中から 真っ白に お化粧した
顔と真っ白くて

大きな 手で足がない化け物が 仏壇と一体化している。

「お前は いったい誰だ？」

「私は白天童子だ！ おめえ

大殺界で ついてない事が多かっただろう？ それにキモイよ！女
にモテないだろうな？」

と白天童子に

馬鹿にされて 悔しかった

当時 隆一は、本当にモテないし

凶星なんで なおさら！

奴は ガキみたいな顔して めっちゃ弱そうだし

隆一は、ぶち切れて パンチを白天童子に 一発ぶちかまそうとし
たが 軽く かわされた

逆に奴の両手からの 奇妙な 気
により

隆一は 3mくらい ぶっ飛ばされた！

「弱いなあ あんた（笑） オレを倒さねば この夢世界からは抜け出せないぜ！」

ちくしょー

と地団駄を踏む隆一！

「ああーキモイ キモイ おまえ」

白天童子は、

さんざん隆一をコケにするんで

隆一は

怒りで体が熱くなる！

熱くなるのはいいが 体が 熱に 包まれ

マジで

隆一は 鬨気の炎に包まれる。

「おいおい

人工発火してんのか？ おめえ？

そのまま

燃えて 燃えて

燃え尽きる！」

「バカにするな

白天どうち… いや 白天童子」

「バーカ

人の名前を呼ぶとき 噛むんじゃないよ」

「オレの体は

真っ赤な燃える」

と 隆一は 叫んだ。

「おい 某アニメのパクリセリフかよ おめえ
すべってんなあ
すべる男やなあ」

さらに 隆一は コケにする 白天童子

すると隆一は、両手を

あわせて天に捧げた！

両手は、なんと

うなぎに変化した！

「すべる すべる言うて うるさいぞ

白天童子！

すべる魚は

うなうなうなぎ」

と言って

うなぎのようになった両手で

仏壇ごと 体当たり

白天童子を

ぶっ飛ばした！

「ああゝ 超ゝ

気持ちゝ」

まで 言いかけた

隆一だが

これ以上

言うとおリンピック金メダリスト選手のパクリに
なるので

やめておいた！

なぜか 床に タバスコが 落ちているので倒れて苦しむ
白天童子に向かって タバスコを
かけまくった！

「うぐああ

あぢい 苦しい

やめろ」

と 白天童子は、泣き出した！

この後も 白天童子は、ひいひい泣きながら

「僕がぜんぶ仕組んだ事です！ ごめんなさい！ 許してください。

元の世界へ戻して あげますから」

「本当だな！

また イタズラするとタバスコ攻撃するぞ」

「ひいゝ わかった

元の世界へ戻します。から タバスコを僕に かけないで（泣）

白天童子は「メニャロフニャボイン ボイン オッハイ ボイン」

と なんだか

モロ下ネタっぽい呪文を唱えてきた

すると隆一は、まわりに 見える？

見えない？

どっち？

ドッチボールと言いながら、

巨乳ギャルの姿がたくさん 現れた！

めっちゃセクシーで

マジで オッパイ見えそうやわ。

興奮して

隆一のイチモツが

元気になってきた時

なんと緑色髪のおじさんが

白天童子に 向かって タバスコを

ぶっかけて

仕込み杖で ゴツンと一発かました！

「この愚か者ーっ！」

とおじさんは

白天童子を一喝

そして

今度は、

おじさんが

「これって夢か？現実か？

どっち？ ドッチボール キャッチボール

フィギュアスケート

？ すべってんなあ」と おじさんが

言っただ

隆一が おじさんに 向かって

「マジおじさん

すべってるよ」

と声に出した！

その後

おじさんは、

「すべる魚は？」

と 隆一に問うてきたので

隆一は、「うなうなうなぎ」

と 言っただ

あら不思議

岡山駅の噴水口のところで

とばされてきているではないか！

「やったあ 無事に 帰れたぜ！ と

思っていたら

最後の どんでん返しが 待っていた！

若い女性達が、

隆一の方を見て
笑っているなあと
思つて

自分の体を見たら

「うぎゃゝ

すっぱだかだゝ」

しかし

イチモツには

でっかい

うなぎが

くつついている！

なんとも

滑稽な

オチだなあ

本当に 最後まで

すべったなあ

すべる魚は

うなづなづなぎゝ

第十四話　メルヘンの館へようこそ（後書き）

夢だけに

仕掛けだらけの館　　これでもか

これでもかと言わんばかりの仕掛けに
びっくりされたはず？

白天童子　　ハンドピースの松田に

似てるなあ

今　　あの当時

見た夢を思い出すと　どこことなく

コミカルチックになる

後半に注目！

って　シリアスじゃなかったんかい

ってツツコミたくな

りますね！

第十五話夢想江戸物語（前書き）

江戸時代 水戸光圀の時代に
タイムスリップする物語

現代人が

江戸で どう生きるのかが テーマとして

描いてみた！

2004年に

作者が見た夢

しかし現代での 舞台は

2011年8月

に設定して

脚色している！

水戸黄門にも

似たメンバーが

登場してくるし

江戸時代の描写を

徹底的にこだわって

書いて見ました。

マニアックすぎて

退屈なところが

あるかもしれない

第十五話夢想江戸物語

隆一は、いつの間にか変な場所に
来ているのに気がついた！

何か白壁に板塀に 石畳 ナマコ壁の続く 細い路地 古き町
家に暖簾の掛けられた 商家が続く！

「どこだ… ここは？ 日光江戸村かな？」
しかし、隆一の
鞆の中身は、無事だった。

ピーヒャララ
ピーヒャララ

祇園精舎の鐘の音
おごる兵士は、

久しからず！
なにやら、祭りのような音が聞こえてくる。
しかも明らかに江戸時代の衣装を
着た人達ばかりだ…

「あの… ここって 京都の映画村か
日光江戸村ですか？」

と江戸の町人に聞いたら、
見た感じ華奢な
40過ぎの男が、

「何を 寝ぼけた事を言っただやがる！
ここは、1699年 元禄文化が盛んな江戸時代だぞ」

と言

矢継ぎ早に、こちらの風変わりな格好に目をとめた！

30過ぎの 小柄な細目の男が来て

「しかも君は

変な格好してるなあ」と言ってきた！

「今は、祇園祭りの最中だぞ！」

と40過ぎのがたいの良い男が言った。

「ここは、江戸のどこですか？」

と隆一は、質問した。

「ここは、江戸の日本橋つてとこさ！

ワシは、これから三井たかとしが経営する三井呉服店に行くんだが、一緒に来ないか？ その格好じゃ 江戸の街を歩くのもおかしいだろ？」

「僕 金無いし

2011年の未来から来た 者なんです！」

「おかしな事を言う青年だなあ？」

と体格の良い男は言った。

「しかし この青年の奇妙な格好と言動は、強ち 冗談とも言えぬぞ」

と小柄細目の男が言う！

隆一は、ひとりになり

江戸の日本橋を渡ってみたが

人混みの凄さに 圧倒された！

橋を渡り、

町を見渡したら、

魚屋や玩具屋や酒屋らしき暖簾を見つけたが

とりあえず茶店に入った。

茶店の主人は、

なぜか

出っ歯で

某大御所有名人にそっくりだった。

「妙な格好した人だなあ」

「うちで何か買って行くかい？」

「いいえ 結構です！でも僕の鞆の中に入っている未来のお菓子を食べてください。」

隆一は、鞆の中から ハロースで68円で買った チョコチップを開封して、

彼の手に渡したら

彼は目を 大きくしてこう言った。

「うめえ こんなうまい お菓子 生まれて初めて食ったわ！お礼に

20両 を差し上げよう」

その後、隆一は、鞆の中に何が入っているか 一回

確認して見ることにした！ ヘアワックスと自分の色々な顔 い

わば 本人ちゃうやる？ってツツコミたくなるような

自分の写真と お菓子と 携帯電話と財布とシャーペンとノートと入れたつもりはないのに

（水につけると、しばらく透明になれるよ）と書いた

奇妙なタオルが

入っていた！

隆一は、江戸の人々から

白い目で見られていたので、 目立たないよう
コソコソと人気のない道を歩いていた！ つもり？

すると後方から

「珍しい 格好したやつちゃのう？」

夜道を 一人で

そんな格好して歩いて いると奉行所の侍に連れていかれるぞ！」

と言った 声の方を 振り返ってみると、 テレビで見る 黄

門そっくりの連中がいた！

もちろん隊長らしき人物は

白髭の70歳くらいの翁だ！

貫禄あるオーラに包まれている。

「あなた達は誰ですか？」

と

隆一は 彼らに聞いたら、

「オレ達は、水戸の旅芸人だよ！」

と角男という角刈りに

ちょんまげの身長2mはある大男が

前へ出てきた！

「そなた

なにやつ？

なんて

そんな姿をしておる？」

次に 助六という細マツチヨだが

目鼻立ちが、

くつきりした 色男が隆一に問いかけてきた！

その後ろには、挙動不審な様子で

八兵衛が

ウロウロしている。

隆一は、一切合切

未来から来た事や、 未来の世界に

ついて

水戸の旅芸人や

隊長である

老人の左ノ助に話した。

「こいつ 奇妙な事を言う奴 だが 左ノ助様にも

気に入られたようだし

オレ達の仲間に

入れて も いいんじゃないかねえか？ 助六？」「左ノ助様
どういたしますか？」

助六は、左ノ助に答えを求めた！

「そうじゃのう！

我ら旅芸人

何かしら 芸達者なものばかりじゃ

そなた 何か

芸とか あるかや？」

突拍子もない質問に 隆一は、思わず、口元が、へ の字に
なるが

ここは、とつさに

「は はい 私

人々を笑わせるのが 得意ですよ」

と答えた！

「な、なんと オレそれ すげー見たいなあ」

ここで 八兵衛は、前のめりに
しゃしゃり でてきた！

隆一は、とつさに 考えたギャグを旅芸人に見舞った！

「私は 書道をしておりました。

紙芝居を してりました

両方 紙を使いますね。 紙をつかうだけに 神業！

うまい事言う」

.....

.....

あたりはシーンとしたエクスタシーな空気が漂う。

隆一は、焦って
手に汗握り

思わず、「私は、バカかもしれない　しかし天才かもしれない
バカと天才は　紙一重　しかし私は、奥二重」　うまい事言う」
左ノ助だけ

クスッと笑った。

「あっぱれじゃ

ワシは、気に入った　ワシらの仲間に入れてやろうぞ」

「黄門様　正気ですか？」

角男は、困った表情　「未来から来たとか　信憑性は疑いがあるが
旅は道連れ世は情けじゃ」

「うまい事言う」

と助六は、隆一のギャグの決めポーズをとる！

わははは　あたりは　大爆笑で包まれた！

隆一は、頭を深く下げた！

「ハハ！　ありがたき幸せ」

すると　八兵衛まで　「ハハ！　ありがたき幸せ」八兵衛も深く
頭を下げた！

「お前まで頭下げて　どうすんねん」
ペチっ！

横から角男が八兵衛を　どつく！

左ノ助達は、隆一に大きめの

ボロボロの小袖と　草履と

三度笠と頭巾を渡した。

こうして隆一を含めた　左ノ助御一行は　宿をとり

朝が来たので

蕎麦屋で江戸前蕎麦を食べ

小田原へ

向かおうとしていた！

「あれを見てみい！美作の国の富田城の大名が
参勤交代で数百人の家来達を
連れて

こつちへ向かつてくるぞ！」

「みんな 頭を下げろ」

と 言いながら、

富田城の武将達が、通りすぎていく。

しかし めちゃめちゃ

時間が経過するのが 長く感じた！

「いつまで 続くんですか？

僕 オシッコしたいんです！」

「もう終わるよ」

と角男は、小さな声で言った。

そして 参勤交代は、終わった。

「おい、隆一よ

今のうちに便所で

小便でも、

クソでも しときな！

これから ワイラ

箱根の険しい山の関所へ 行かなあかんからな！」

と八兵衛は、言った。数時間後、足は棒のようになってしまった
が、箱根の関所に着いた。

すると

箱根の関所の前で 怪しい者達が現れた！

「我らは 闇旅芸人一行だあ」

こつから先は通さん。」

と豪華な西陣織の半袴を着た 真っ白な

眉と白くて長髪の濃い顔の男が 真っ先に出てきた！

奴こそが

悪名高く

左ノ助一行を

いつも邪魔しているらしい

雷風って男だ！

そして黒装束の忍者姿の男がいる！

彼も闇芸人であり、服部半蔵三世と呼ばれていた！

さらに赤い布の服の下に くさりかたびら を着た ギザギザへ

アの男がいた！

彼こそが、石川五右衛門二世である！

もう一人

紅一点だが、紫色の忍者服を着た

くのいちが

あみん という奴だ！

よりによつて

こういう時に限って 隆一は、私服にジーンパンに 鞆姿だった。

それを見て

「おい 箱根の奉行所の侍よ！

妙な髪型に

妙な服装した青年が いるぜ！

オレ達と一緒に

とっ捕まえようぜ」

と五右衛門二世が

箱根の関所で

休憩している

江戸幕府の中でも

腕ききの武士である

桃太郎へアした

凜々しい侍

剣次郎という男を惑わし

一緒に 左ノ助一行と隆一を捕らえるために

偽りを 剣次郎に伝えた！

「俺は 左ノ助様とやら

つまり ご隠居様の噂は

聞いているが

何かしら変な奴を連行しておるではないか？

キサマら

もしかして 偽左ノ助一行らか？」

と

左ノ助一行に向かつて

激しい剣幕で

剣次郎は刀を抜刀して

左ノ助に向かおうとしている。

「違うぞ 剣次郎

お前は、五右衛門二世に 騙されておる。

ワシらが真正銘の 左ノ助一行で

闇の奴らは

五右衛門二世達じゃ」

「問答無用」

と言って角男や助六に斬りかかる剣次郎 「ここで会ったら百年目

今日こそ

左ノ助一行の命 ちょうだいいたしまする。」

と言つて くのいちの あみんが

飛び道具 クナイを、左ノ助の胸を狙つて投げつけてきた。

カチーン！

な なんと横から 風車の武器が

飛んできて左ノ助は、助かった。

「拙者を忘れて

もらっちゃ困るぜ」

と言つて 風車の矢七も 登場してきた！

「くらえっ」

雷風は、助六と角男に向かって円月輪という
ブーメランみたいな 飛び道具で

攻撃してきたが、

助六と角男は

空中で 一回転して それを避けた！

「奇妙な格好の男よ！ オレが相手だーっ 桜吹雪の舞」

と言って踊りながら 剣次郎の連撃で斬られそうになるが
ダッシュで

隆一は、逃げまくった！

しかし

追い詰められて

「もう駄目だ！」

と思ったら、

大きな男

原始人みたいな服を着た男

照英が

剣次郎を キックで吹き飛ばしてくれたので助かった。

「オレは、照英だ！ よろしくな」

と隆一と握手する。

一方

敵の服部半蔵二世は、忍術 つむじ風を 起こして 八兵衛を

上空高く 舞い上げ 落ちてきたところを

忍術炎蛇の術で仕留めようとしたが 力士出身の八兵衛には、あま
り効いてないようだ。

「涼しい風と温かい火の玉サンキュー」

「くそっ こいつ拙者の忍術が効かんのか？」

半蔵は、一気に戦意を喪失したようだ。

「オイラの鉄球攻撃で倒れるー」

と五右衛門二世は、超スピードで助六や角男に向かって小判や大判を凶器にして投げってくるが、彼らは素早くよけた！

こうして30分以上 忍術や剣術による バトルが続き

決着がつかないんで 剣次郎は、こう言った！

「みんなあ

しばし休戦しようや！

それと妙な格好と その一行達よ

お前ら 怪しいけど

こここの関所を通っても良いぞ！

お前らの戦い方見ていて また、お前らと戦いたいし
一人でも ここで死なれては困る。

特別に許す。

関所をぬける」

「今日のところは

ひきあげじゃ」

闇芸人達は、煙玉を使って 一瞬で

その場から消えた！

箱根の峠は、隆一に とってもつらかった。

足は もうガタガタ

鉛のようだ。

「すごい山道が続きますよね

きつつ」

「頑張れ 未来人よ」

と皆で隆一を励ましてくれた！

しばらくして角男が 「おー 後ろから

なんかくるぞ」

と言った！

振り返ると 大きめの褌に飛脚箱を持った

飛脚が

隆一達を すくっと 通り過ぎていった！ 「江戸時代の飛脚
つて めっちゃ体力あるやん！ オリンピック出れそつやなあ」

隆一は、内心そうつぶやいた。

夜が来て

峠をこえて

夜遅くに

伊豆の国（三島）

で 隆一達は、一泊し更に2日間

歩き 府中の国の天竜川まで

辿り着いた！

ここは、船が出てないが、

この川で 籠渡ししてもらったり 肩車で 川渡しされるのだが

昭英と 風車の八七は、忍術で川を渡り

二人は姿を消した。

その後の話したが

尾張まで左ノ助一行は、名古屋城に行く事になる。

その間も隆一は、怪しまれたが

左ノ助一行のフォローによって

無事に名古屋城に入れたし

名古屋城でも

いろいろ未来から来た事をアピールしまくった！

当然 聞く耳をもつ者もいれば

隆一を鼻つまみ者にする者もいた！

光陰矢の如し！

時はあっという間に経過し、

時はいつの間にか 夢スクリーン上では 1700年と表示さ
れた！

既に左ノ助は病になって 病床にふしていた！

そして小田原の宿で 皆して

左ノ助を看病していた！

しかし、薬石効なく、左ノ助の症状は悪化していった！

「ワシは、もうダメじゃ！」

と苦しそくに咳をしながら左ノ助は、

弱気な発言をした！

「ご隠居様

きつと良くなりますから」

と角男は、涙を流しながら言った！

「隆一を日光の陣所宿へ ワシが亡き後は 住まわせてやれ」

「はい」

左ノ助は、辞世の句を読んだ。

「旅に倒れ 夢は 草原を かけめぐる

未来から来た青年よ ペリーの黒船の来る時とか明治という
新しい時代が来ることを ワシは、信じるぞ……」

そう言つて

左ノ助は、静かに息を引き取った！

「ご隠居様」

光圀様」

（彼こそは水戸光圀本人だった）

その日は、なんとも言えない重い空気が 一日中

小田原の宿で漂った！

そして3日後、

角男と助六から呼び出しがあり、

小田原の関所まで行った！

「お前は 左ノ助様が言われたとおり

日光の陣所宿で住め： オレ達は、江戸で用事があるんで一緒に行動できぬが 暇を見つけたら 隆一殿のところへ行くよ！」
と助六と角男は、そう隆一に言つて風のようにいなくなつた。

左ノ助亡き後

八兵衛に陣所宿まで 案内してもらつた。

日光では、ひとときわ 大きな宿だ！

池泉回遊式庭園で数寄屋造りの 宿が 秋の紅葉で真っ赤に染まり美しい。

庭園の中の池の中では、鯉が優雅に泳いでいる。

隆一は、すぐに紅 白 黒 の三色のお洒落な小袖を着たメガネをかけた ふくよかな陣所宿主（60歳くらい）と仲良くなり

また、その宿で 働く着物姿の女性達と仲良くなつた！

だが、3日後、

剣次郎という以前

戦つた武士と陣所宿主が

知り合いだったという事に

後から気づいてびっくりする隆一！

なんと その日

剣次郎の ドスの効いた低い声が

聞こえてくるではないか！

「ハハハハ

いつ来ても

ここは最高じゃのう！ ちいーと 中の拝観させてくれぬか？」

「いいですよ」

何も知らない宿主は 丁寧に 剣次郎をもてなす。

「あわわわわ

いつぞやの いかつい武士 キターッ！

どうしよう（泣）

そうだ 鞆の中にある水に濡れたら一時的に姿が消える
変な道具が

あつたのを 思い出したぞ

本当かどうか

今 使ってやれ」

隆一は、タオルを水に濡らして

姿を消せたのは

いいが タイミングが悪く

剣次郎と

目が合った瞬間

隆一は 姿を消せた！

「おやつ ？ オレの探している未来から来た という若造の姿が、
今 見えたような？

宿主よ」

ちよつと 宿の中を調べさせてもらうぜ

まさか 未来からきた 妙な奴は来てないよなあ？」

「剣次郎さん 見間違いないでしょうかね」

宿主は、はつと

その場の空気を読み気の利いた一言を言った！

しかし隆一は、その後 重大なミスを犯してしまふ。

魔法のタオルに水を つけたら

しばらくは透明に

なれるが

タオルが乾くにつれて

元の姿に戻ることを知らず

フ口場で 突っ立って安心していた！

そして剣次郎が

風呂場に來た時

隆一の両足は、乾いて透明ではなくなっていた！

「おやつ？ 足だけが動いてる？
しかも

この臭い どこかで嗅いだ事があるぞ？
ええい！

わかったぜ

未来から來たとぬかす者よ
頭隠して尻隠さずだなあ！

足や尻が見えとるぜ！ 変な術を使いやがるなあ 斬ってやる」
剣次郎が抜刀の構えに なったので 隆一は あわてふためき
逃げまくった

剣次郎は、鬼のような形相で 刀を振り上げ追いかけてくる！
なんとか 隆一は、逃げ延び 再び風呂場の水があるところに
タオルをつけた！

再び隆一は、透明人間になった！

「覚えてやがれ
若造め（怒）

奉行所の仲間を ここへ連れてきてやるわ！

その名は、江戸ナンバーワンの江戸町奉行

大岡越中様だぜ！

2〜3日したら ここへ

オレと越中様とで再びきてやるぜ！

もし曲者を かくまり続けたら

宿主よ 貴様にも 刑を言い渡す。」

そう言いながら

剣次郎は帰って行った！

「お前なあ

八兵衛の知り合いって事は

わかるけど、

変な道具を持ってるし

変な格好してるし

未来から来たとか

私達には、言っておるが

本当は神経が

いかれた奴じゃねえの？ 2、3日後は、大岡様に自主しろよ！

我々を つまらんことに
まきこむな」

と宿主は隆一に言ったら 隆一の変わりにA Bの 田 利そつく
りの

女中さんが

来てこう言った！

「彼は変ではなく

面白い人ですよ！」

次に 優子と言って これまたA Bの 大 優 そっくり

の人が来て

こう言った！

「未来から来た

隆一って人は

かなり楽しいし

道具 めっちゃ 興味そそられるんよ！

例えば、携帯電話とかいう 西洋じみた道具を覗いたら
いっぱい素敵な画像とか

絵が映ってたわ。
写メールとか」

次に またしてもA Aの前田 そっくりの人が
来て

「隆一いわく

江戸幕府は1868年まで 続くそうやわ」と言った！

また その他の女中達は

「今 1700年でしょ？ 赤穂では

大石様の討ち入りが 五年先に起きるってさ…」

「あの 大石殿が？ まさか？」

と宿主は、驚いている。

そして 宿主は、隆一の 持っている

ヘアワックスで

いろいろ

ヘアチェンジならぬヘア遊びを

楽しんでいる。

その晩

どうやったら

隆一を奉行所に捕まらずに 助けられるだろうか 皆で知恵を出し
合った

その2日後

江戸での用を済ませた

助六と角男が陣所宿へ 立ち寄った！

陣所宿一行は、助六と角男に
すべての事情を話した。

「江戸の將軍様は、是非とも隆一に会いたいねと言つてたぜそれでオレ達

隆一を 迎えに来たのになあ？」

助六と角男は、腑に落ちない表情丸出しになりながら

「明日 大岡と剣次郎が 来るんだろ？」

隆一は、怪しい奴じゃねえと

オレ達で話そう！」

「せっかく 將軍様に隆一は、招待されてるのに その前に

大岡奉行所で刑罰を うけるなんて

なんねえように

オレ達で

協力しよう」

と助六は、言つた！ その夜は遅くまで作戦会議やら雑談が繰り広げられた！次の日

鬼のような恐い顔

シワだらけだが威圧感ある風格の

大岡越中 と剣次郎が 凄い剣幕で

陣所宿へ来た！

「さあ 変な若者よ」 こないだは、よくもオレを からかつてくれたね

出てきやがれ（怒） ここに いるのは わかっておるぞ（怒）

「

と剣次郎は、怒鳴り散らした！

「大変です！入り口で 大岡様と剣次郎が隆一を出せと怒鳴ってます。」

女中達が震えながら　かけこんできた

「隆一よ！

逃げからは

何も　うまれん！

ここは、G O　F O R　B L E A K ！！

当たって砕ける」

と助六は、隆一の肩を　ぼん　と叩く

「いざとなりや

オレ達が　助けてやるぜ」と　力こぶを作る角男！

宿の者達と　角男と助六と隆一は、外へ出て

奉行主大岡と剣次郎の前に

姿を　現した！

「この　隆一という男は、將軍様に　近いうちに　お会いするのだ
！！

変な裁きは辞めてもらおうかと角男は大岡に啖呵を切った！

「將軍様に　この変なんが会うだと？」

「わかった

今すぐ

お前達を裁くのは　やめよう。」

と大岡は、腕を組み深く頷いた！

「隆一とやら　お前が本当に

怪しいものかどうか　判別したいし

我らの誤解もあるやもしれぬ

話し合おう」と再び大岡は言った！

隆一は、未来から持ってきた

携帯電話の写メールを見せたり

ヘアワックスの使い方を皆に広めたり　ノートに絵を描いたり

水につけると姿を消せるタオルについて　アピールした！　更に

日本の歴史について

知っている事を詳しく話した。

隆一がアピールした事や 話に
深い感銘をうけた

大岡と剣次郎は、こう言った！

「オレ達は、勘違いしていたよ。
隆一を！」

西洋から来たスパイかと思っていたし
左ノ助殿の仲間ではなく

世間で 噂になっている 名うて
の悪党かと

思ってた
許してくれ！！」

こうして隆一と剣次郎は、和解した！
大岡も納得した！

「どうか これからは良き友として
皆で助け合おうではないか！」

と剣次郎は隆一に握手した！

「ワシも君の友になりたいぜよ」

大岡も握手してきた！

こうして 皆が和解し理解しあえた時に、 なんと隆一の体が輝
き出した。

そして七色の光が隆一を包み込む。

赤くオレンジく黄色く緑く青く藍色く紫へと

オーラのチャクラの色と同じ色に変化しながら 隆一を包み込む！

「いったいどうなっておるのだ？」

隆一は紫色に包まれた光と共に
空へ舞い上がっていく。

「奴は…隆一は…やはり未来から来た男 だっ たんだな…
待ってくれ

我が良き友よ！

お前の事は 一生

忘れない！」と

剣次郎は、泣きながら 隆一に手を振っている。

隆一の体は、徐々に透明になっていく… 隆一は、さらに上空高く

宙を舞い 空にかかっている

虹の光へ包み込まれ 姿が消えた！

いつまで寝ていたのだろうか？

パツと目をあけると 現代 の倉敷駅に戻っていた！

町ゆく人々は、2011年8月 チボリもなくなつて以前より 活
気はないが

倉敷の夜は路上ミュージシャンが練習している風景が見られた

隆一は、持ち物をチェックしたが 全て元に戻っていた

しかし あの水に濡らしたら透明になる

タオルだけは なかった。

あの道具は、何だっ たんだろう？

第十五話夢想江戸物語（後書き）

旅芸人だけに

お笑い要素を含んだとこや

旅芸人には

ライバルが いるんだと いうポイントを 強調してみた！

奉行所や

陣所宿

箱根の関所など

歴史史実に基づく

話にも

なってます。

水に濡れたら透明になるタオル

絶対 欲しいなあ

とか

思いますね（笑）

女中達が

現在 筍のアイドルグループにしている

設定も

ミソ！

江戸時代物夢日記

当時

作者は

この夢日記一つで

あまりに物語性が

あるから

映画化したら

面白い

とか

すごい興奮していた！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5605y/>

夢不思議アドベンチャー

2012年1月14日15時45分発行